令和2年度

こおり教育要覧



東北大学 川島隆太教授 とのパネルディスカッション(醸芳中学校)



福島県伊達郡桑折町教育委員会

〒969-1692 福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地 TEL&FAX 024-582-2403

1	桑折町の概要	
	(1)桑折町の町章・花・木・鳥 ・・・・・・・・・・・・・・	1
	(2) 歴史・土地・産業・人口・交通 ・・・・・・・・・・・・	2
	(3) 町民憲章・歴代町長・歴代議長等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2	桑折町教育委員会	
	■ 桑折町教育大綱 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	(1) 組織・機構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	(2) 予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	(3) 重点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3	学校教育	
	(1) 保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧 ・・・・・・・・・・	19
	(2) 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革 ・・・・・・・・・・	20
	(3) 歴代校長名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	(4) 中学校卒業生の進路状況 ・・・・・・・・・・・・・・・	26
	(5) 児童生徒数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
	(6) 児童生徒の体位 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	(7) 学校給食事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
4	生涯学習	
	(1) 生涯学習課組織機構 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
	(2) 生涯学習関係審議会・機関 ・・・・・・・・・・・・・・	32
	(3) 生涯学習関係団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
	(4) 主な事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
	(5) 生涯学習関係施設一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
5	社会教育・スポーツ関係沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
6	参考資料	
	(1) 桑折町の15歳のめざす姿・・・・・・・・・・・・・・	44
	(2) 令和2年度桑折町こども園、各学校の経営・運営ビジョン	
	ア 醸芳保育所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
	イ 醸芳幼稚園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
	ウ 醸芳小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
	エ 睦合小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
	オ 半田醸芳小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
	カ 伊達崎小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
	キの醸芳中学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51

1 桑折町の概要

(1) 桑折町の町章・花・木・鳥

町 章



昭和40年制定 上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表します。 全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山 を象徴しています。

町の花 『モモ』

桑折の春を花霞で美しく彩ります。実は、くだものの町を代表する逸品です。

町の木 『アカマツ』『カヤ』

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

町の鳥 『カッコウ』

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。



~「こおり」という地名と桑折町の誕生~

その名前が歴史に登場したのは奈良・平安時代。 東山道に駅家(うまや)が設置され、郡家がおかれたところから桑折と改められました。昭和30年には町村合併促進法に基づいて旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村が合併して今の"桑折町"が誕生しました。

(2) 歴史・土地・産業・人口・ 交通

◆歴史◆

◎原始 大字南半田の平林遺跡から、旧石器時代の,2万5千年程前と考えられる石器群が出土している。

◎古代 6~7世紀頃の築造かと思われる塚野目古墳群の中では、大字伊達崎の錦木塚古墳が著名である。

平安期には郡の再編で信夫郡から伊 達郡が分かれ、郡衙が置かれたことか ら『郡』の地名となったとされている。

◎中世 1189年(文治5年)源頼朝の藤原 攻めで軍功のあった中村朝宗が伊達 郡を与えられ姓を伊達とした。以来、 伊達氏は大字万正寺の西山城を居城 とし、17代政宗に至るまでその勢い が及んだ。

◎近世 豊臣秀吉の奥羽仕置きにより、伊達・信夫両郡は蒲生氏郷に与えられ、1598年(慶長3年)からは、上杉氏が領し、新田開発、殖産に力を注いだ。佐藤新右衛門らによる西根下堰(1618年)西根上堰(1625年)の開墾や半田銀山の採鉱、養蚕業の隆盛などは、本町の歴史にとって重要である。1686年(貞享3年)奥州街道・羽州街道の分岐点である桑折に桑折代官所が設置された。

②近代 1883年 (明治16年) 伊達郡役所 が保原から桑折に移転新築された。

1889年(明治22年)11村が合併して桑折町、睦合村、半田村、伊達崎村となった。

1955年(昭和30年) 更に、1町3村が合併して桑折町が誕生した。

◎現代 2004年(平成16年)には,地方 自治法及び市町村合併特例法(昭和4 0年法律第6号)に基づく伊達郡7町 による合併協議会には加わったもの の伊達市の合併には参加せず、自立の 道を選択し、平成27年1月1日に町 制施行60周年を迎えた。

◆土地◆

総面積 42.97㎞

- ・農 地 30.7% (内 水田14.2%)
- •宅 地 6.9%
- その他 62.4% (山林を含む)〔令和元年度 概要調書〕

東経140度30分 北緯37度50分 [国土地理院]

中央標高 84.6 m 半田山標高 863.1 m

◆産業◆

農産物収穫量(平成30年調)

· 米 1,860 t

〔福島県農林水産統計年報・作物統計調査〕

製造品出荷額等 541億8,831万円 [H30 工業統計調查]

工場数 36(従業者4人以上)

- ・機械器具・金属 15 ・飲食料品 8
- ・繊維 1・その他 12

[H30 工業統計調査]

◆人口◆ 〔住民基本台帳より各年4月1日現在〕

明治 9年 8,900人 33年 13,493人 大正 9年 12,550人昭和 5年 13,306人 15年 13,466人 25年 17,307人 35年 15,814人 14,723人 45年 55年 14,903人 平成 2年 14,692人 7年 14,221人 12年 13,700人 17年 13,409人 22年 13,254人 23年 13,079人 24年 12,792人 25年 12,601人26年 12,508人 27年 12,406人 12,240人 28年 29年 12,180人 30年 12,055人 令和元 (31) 年 11,841人 2年 11,679人

◆交通◆

明治20年(1887) 東北本線開通 昭和32年(1957) 現国道4号着工 昭和35年(1960) 現国道4号開通 昭和35年(1960) 東北本線電化 昭和50年(1975) 東北自動車道開通 昭和57年(1982) 東北新幹線開通 平成 7年(1995) 国道4号一部4車 線完了 令和 2年(2020) 東北中央自動車道 伊達桑折 IC~桑 折 JCT 開通

桑折町町民憲章

(昭和60年9月制定)

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとにひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。

私たちは、この町の、伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらにこの町を、活力ある町に育てて後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

- 歴史と伝統を尊び、かおり高い、文化の町をつくりましょう。
- 恵まれた自然を愛し、環境を整え、緑の町をつくりましょう。
- 心身をきたえ、健康で、明るい町をつくりましょう。
- 勤労にはげみ、活力ある、豊かな町をつくりましょう。
- きまりを守り、助け合う心を育て、住みよい町をつくりましょう。

◆歷代町長◆

① 早田傳之助	② 宍戸 房吉	③ 菊田 芳衛	④ 安細 隆清	⑤ 林王喜久男
S30.2~	S34.2~	S50.9~	H2.9~	H14.9~
⑥ 髙橋 宣博 H22.9~				

◆ 歴代町議会議長 ◆

① 宍戸 房吉	② 朽木久三郎	③ 安細喜太郎	④ 栗花儀兵衛	⑤ 近藤 清
S30. 10~	S32.10~	S42.10~	S 49. 12~	S 50. 10~
⑥ 亀岡 義彦	⑦ 山川 角蔵	⑧ 佐藤 義夫	9 近藤 宏	⑩ 奥山 敏夫
S54. 10~	S57. 12~	S62. 10~	H 7. 10~	H11. 10~
① 髙橋 宣博	① 浅野 義雄	① 半澤 高	④ 片平 秀雄	
H15.10~	H22.7~	H23.10~	H27.10~	

◆ 歴 代 教 育 長 ◆

① 熊坂惣兵	第 ② 遠藤 勉	③ 遠藤 伊雄	④ 大友 寛	⑤ 村岡房之助
S 30.4~	S 39.10~	S 52.5~	S60.10~	H 1.10~
⑥ 岩谷 敬·	回 ⑦ 荒海 健二	⑧ 室井 君男	⑨ 安藤 重男	⑩ 会田 智康
H8.10~	H14.1∼	H21.4∼	H23.1∼	H27.4~

◆ 現 教 育 委 員 ◆

① 柴田 宣広	② 鈴木 キョ子	③ 小野 紀章	④ 長谷 富子
H22. 10∼	H27.10∼	H28. 10∼	R元.10∼

◆ 歴代教育委員◆

職名	氏 名	在任期間	住 所
1 教育長	熊 坂 惣兵衛	昭和 30.7 ~ 57.9	陣屋
2 委 員	大 越 宇 市	31.10 ~ 41. 9	松原字西原
3 委 員	奥山覺三	31.10 ~ 34. 9	谷地字道下
4 委 員	朽 木 吉 明	$31.10 \sim 51.9$	上郡字古寺
5 委 員	佐 藤 俊 夫	31.10 ~ 41. 9	陣 屋
6 委 員	鈴 木 夕 ネ	35. IO ~ 50. 9	谷地字追分
7 教育長	遠藤勉	$39.10 \sim 52.4$	陣 屋
8 委 員	古 山 千代壽	41.10 ~ 45. 9	成田字引地
9 委 員	氏 家 武兵衛	41. 10 ∼ 50. 9	北 町
10 委 員	八木沼 惣兵衛	45. 10 ∼ 57. 9	松原字柳沢前
11 委 員	角 田 道 子	50. 10 ∼ 53. 1	北 町
12 委 員	佐々木 才 吉	50. 10 ∼ 58. 9	北半田字栗和田
13 委 員	八卷敏榮	$51.10 \sim 59.9$	上郡字菜洗場
14 教育長	遠藤伊雄	52. 5 \sim 60. 9	福島市飯坂町湯野
15 委 員	高原アイ	$53.10 \sim 59.9$	北 町
16 委 員	柴 田 宣 教	57.10 ∼ H6. 9	平沢字山中
17 委 員	鈴 木 三 元	58.10 ∼ H7. 9	谷地字追分
18 委 員	半 澤 金兵衛	59.10 ∼ H4. 9	本 町
19 委 員	石 幡 セツ子	59.10 ∼ H4. 9	伊達崎字吉沼
20 教育長	大 友 寛	60.10 ∼ H1. 9	梁川町栗野
21 教育長	村 岡 房之助	平成 1.10 ~ 8.9	福島市八島町
22 委 員	大 内 一 夫	4.10 ~ 18. 9	伊達崎字西舘
23 委 員	粟 野 章	$4.10 \sim 13.12$	北 町
24 委 員	八木沼 惣 一	6.10 ~ 18. 9	松原字柳沢前
25 委 員	半澤敏子	$7.10 \sim 19.9$	南半田字二本木
26 教育長	岩谷敬恒	8.10 ~ 14. 9	福島市鎌田
27 委 員	佐 藤 好 久	14. 2 ~ 20. 9	北 町
28 教育長	荒 海 健 二	14.11 ~ 21. 3	福島市笹木野
29 委 員	佐 藤 善 利	18.10 ~ 22. 9	松原字北向
30 委 員	大 波 敏 子	18.10 ∼ R1. 9	下郡字古舘
31 委 員	安 藤 重 男	19. 10 \sim 27. 3	谷地字道下
32 委 員	安 齋 恵 子	20.10 ~ 28. 9	沢
33 教育長	室井君男	21. 4 ~ 22.12	福島市笹木野
34 委 員	柴 田 宣 広	22. 10 ~	平沢字山中
35 委 員	羽根田 忠 一	23. 1 ~ 27. 9	北半田字古舘
36 委 員	鈴 木 キョ子	27.10~	南半田字六角
37 委 員	小 野 紀 章	28. 10~	新町
38 委 員	長 谷 富 子	令和 1.10~	伊達崎字中屋敷

桑折町教育大綱

本教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、町長が、町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものである。

本町においては、平成28年12月に新しい町の総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」を策定したところであり、今回その内容を踏まえて従来の教育大綱を次のように変更し、その計画期間も新総合計画と同様に平成29年度から平成33年度までとする。今後の5カ年において、歴史と文化の町にふさわしい質の高い教育や生涯学習の実現に向けた仕組みづくり・基盤づくりをしっかりと進め、本町の子どもたちの大きな可能性の実現と、町民一人ひとりの生きがいや自己実現をめざして、この教育大綱を策定する。

- 1 基本方針 復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。
- 2 基本目標 「志高い人材を育む"学び"の醸成」を推進するため、 右の目標を定める。
- (1) 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現
- (2) 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
- (3) 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進、社会体育・生涯スポーツ活動、文化芸術活動の振興

3 施策の体系と重点

- (1) 子育て支援
 - 子ども・子育て支援事業の推進
 - () 青少年の健全育成
 - 屋内遊び場を活用した子育て支援の充実
- (2) 乳幼児保育と教育
 - 乳幼児保育の充実
 - 幼稚園教育の充実
 - 幼児教育にかかる経済的支援
- (3) 小中学校教育
 - (教育内容の充実
 - 教育施設の充実
 - 学校教育にかかる経済的支援
- (4) 生涯学習
 - 生涯学習活動の推進
 - 芸術・文化の振興
 - (公民館施設等の充実
 - 多文化交流の促進
- (5) 生涯スポーツ
 - 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進
 - 体育施設等の充実
- (6) 歴史まちづくり
 - (文化財の保護と活用
 - 「歴史的風致維持向上計画」の推進

<子育て支援の重点>

- ◆ <u>保育所や預かり保育の"待機児童ゼロ"</u>を今後とも継続していくため、受け入れ体制を一層充実させるとともに、子育て世代への情報提供や相談体制整備を進め、保護者が安心して子育てできる環境の整備に努める。
- ◆ 保育所や統合幼稚園において、質の高い保育・教育の実施と、施設・設備の充実に努める。
- ◆ 幼稚園給食費無料化・多子世帯授業料軽減・制服支給など、幼児教育等にかかる経済的支援を引き続き推進する。

<学校教育の重点>

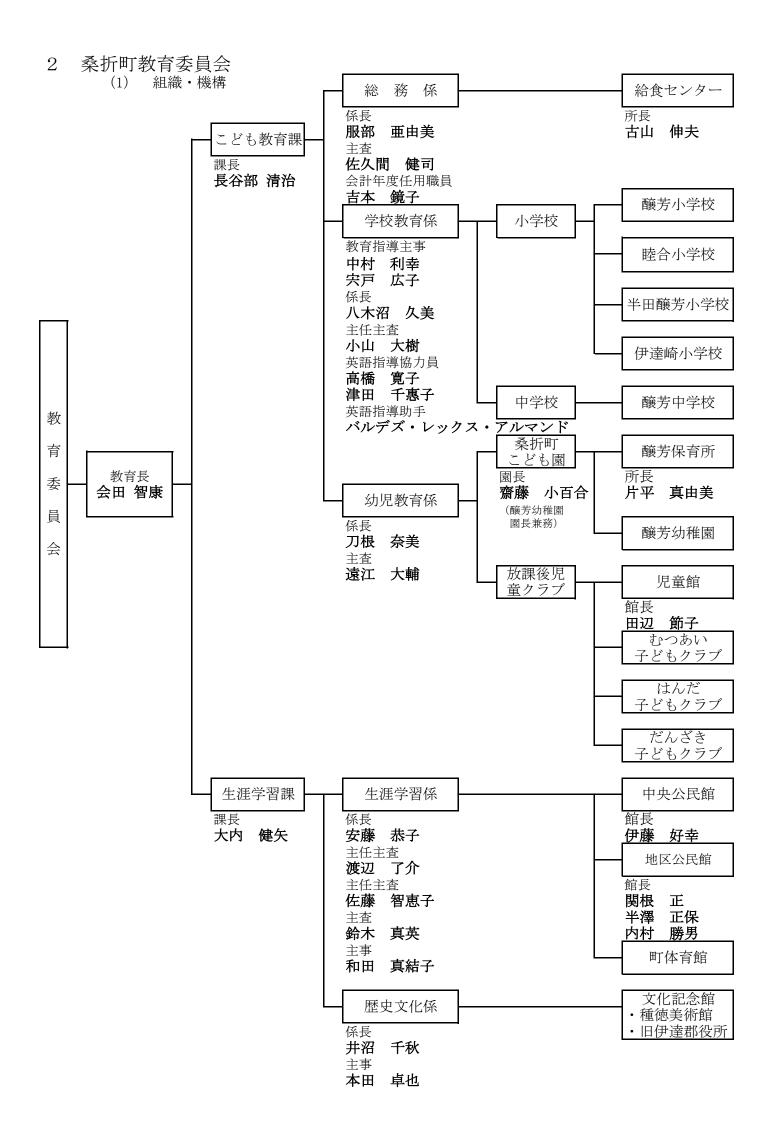
- ◆ 確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育て、児童生徒に「生きる力」を身に付けさせていくため、<u>生活</u> 習慣改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育に重点的に取り組む。
- ◆ 学力向上に向け、教員の指導力向上のための研修、生活習慣改善のための特別授業、読み・書き・計算の徹底反復、 桑折学習塾などの施策を推進する。
- ◆ 小・中学校の施設・設備の充実に努める。
- ◆ 新学習指導要領への移行に伴い、道徳教育・英語教育・ふるさと教育の充実を図り、指導体制を整備する。
- ◆ 奨学資金貸与・就学援助・制服支給など、学校教育にかかる経済的支援を引き続き推進する。

<生涯学習の重点>

- ◆ 青少年健全育成活動の推進強化を図るとともに、「イコーゼ!」活用による子育て・スポーツ事業の展開に努める。
- ◆ 「地域人材バンク」の整備や地区公民館活動の活性化により、生涯学習活動の一層の推進を図る。
- ◆ 町民の芸術・文化活動の奨励・支援や、芸術・文化事業の拡充に努める。
- ◆ 社会教育・社会体育関係の施設・設備の充実に努める。
- ◆ 姉妹都市交流などの多文化交流の促進に努める。

<文化財保護・活用の重点>

- ◆ 有形・無形の歴史的遺産の調査と文化財指定の推進、及び保護・活用の促進に努める。
- ◆ 史跡桑折西山城跡整備事業を推進する。
- ◆ 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、<u>歴史資源を活かしたまちづくり</u>を推進する。



(2) 予 算

◆ 教育予算

(単位:千円)

項	目	金	額	説明
1. 教育総務費 168,870	教育委員会費 事務局費	1, 151,	1 8 4 2 5 9	教育委員会運営費 職員人件費 事務局管理費 就学事務費
				英語指導助手受入事業費 学力向上対策事業費 スケールソーシャルワーカー緊急派遣事業委託費
	子育て支援事業費	16,	4 2 7	子育て支援事業費
2. 小学校費	学校管理費	51,	6 6 2	小学校管理総務費 小学校管理費
67, 564	教育振興費	15,	902	小学校運営総務費 小学校運営費
3. 中学校費	学校管理費		4 6 0	
28, 794	教育振興費	4,	3 3 4	中学校運営費
4. 幼稚園費	幼稚園費	167,	0 3 1	職員人件費 幼稚園管理運営費
167,031				
5. 社会教育費	社会教育総務費	69,	099	職員人件費 社会教育総務管理費 生涯学習振
155, 211				興費
	公民館費	39,	1 2 5	公民館総務費 公民館活動振興費 公民館施設
				維持管理費 芸術・文化活動振興費
	文化財保護費	46,	987	文化財保護総務費 文化財調査費 文化財保護
				管理費 文化財保護整備費
6. 保健体育費	保健体育総務費		4 1 0	保健体育総務管理費
222,041	体育施設費	96,	0 9 3	体育活動振興費 体育施設維持管理費
	給食施設費	125,	5 3 8	給食センター総務費 給食センター施設運営費

◆ 福祉予算

(単位:千円)

項	目	金額	説明
2. 児童福祉費 (358,374) 196,170	児童福祉施設費	151, 867	職員人権費 保育所管理運営費
	児童福祉費	44, 303	児童館管理運営費 放課後児童健全育成事業費

(3) 令和2年度 桑折町教育委員会重点

I 基本方針

復旧と復興から創生をめざす桑折町総合計画『献上桃の郷こおり創生プラン』に基づき、町の未来像「みんなとつながり みんなが活躍できる 安心のまち 桑折」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

Ⅱ 基本目標

「志高い人材を育む"学び"の醸成」を推進するため、次の目標を定める。

- 1 知・徳・体の基礎を身につけ、高い志を持った「桑折町の15歳のめざす姿」の実現
- 2 保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進
- 3 各世代の学びを醸成する生涯学習活動の推進,社会体育・生涯スポーツ活動、 文化芸術活動の振興

Ⅲ 重点施策

- 1 子育て支援
 - 子ども・子育て支援事業の推進

[こども教育課]

○ 青少年の健全育成、屋内遊び場を活用した子育て支援の充実

[生涯学習課]

- 2 乳幼児保育と教育
 - 乳幼児保育の充実、幼稚園教育の充実、幼児教育にかかる経済的支援 〔こども教育課〕
- 3 小中学校教育
 - 教育内容の充実、教育施設の充実、学校教育にかかる経済的支援 〔こども教育課〕
- 4 生涯学習
 - 生涯学習活動の推進、芸術・文化の振興、公民館施設等の充実、他文化 交流の促進 〔生涯学習課〕
- 5 生涯スポーツ
 - 健康・体力づくりをめざす生涯スポーツの推進、体育施設等の充実 〔生涯学習課〕
- 6 歴史まちづくり
 - 文化財の保護と活用、「歴史的風致維持向上計画」の推進 〔生涯学習課〕

乳幼児保育・教育の重点

○ 保育・教育内容の充実及び安全・安心な教育環境の整備を図り、知・徳・体バラ ンスの取れた質の高い教育を推進し、心豊かにたくましく生きる子どもたちを育 成する。 ○ 「桑折町の15歳のめざす姿」の実現をめざし、保育所、幼稚園から小学校、中 学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切した教育を推進する。 ○ 子どもの健やかな成長と保護者が安心して子育てできる支援事業の推進及び環 境整備に努める。 1 乳幼児保育・教育の充実 (1)乳幼児が安全安心に保育・教育を受けるための環境の整備と安全指導の充実に努める。 ① 発達に即した環境の整備と施設・設備の点検を実施する。 □ 日常的な施設・設備の安全点検実施 ② 防災体制の確立及び日常生活における安全指導の徹底を図る。 □ 実効性ある避難訓練等の実施 □ 通園指導による交通安全啓発活動の実施 ③ 食品等のモニタリングによる安全安心な給食を提供する。 □ 食品のモニタリングと結果の公表 (2) 心豊かにたくましく生きる子どもたちを育成するため、知・徳・体バランスの取れた 質の高い教育を推進する。 ① 保育所保育計画、幼稚園教育計画により保育・教育の充実を図る。 □ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を目指した計画的・系統的な指導の充実。 □ 環境を通しての遊びを中心とした総合的に行う保育・教育活動の実施 ② 心の安定と自己肯定感を育む集団づくりに努める。 □ 幼児の言動を肯定的に受け止める保育・教育の実施 □ 自己表出できる友達関係の育成 ③ 運動遊びを中心とした体を動かす活動の充実を図る。 □ 体力向上1園(学級)1実践の取組 □ 発達年齢に応じた体を動かす遊びの充実 □ 外部講師による運動遊び、ダンス教室の実施 ④ 読書活動の推進を図る。 □ 絵本コーナーの充実と活用 □ 絵本の積極的貸し出し

□ 異文化体験活動の推進

□ 家庭での読み聞かせの奨励

⑤ 文化や芸術など様々なものに触れ経験する中で豊かな心を育む。

3 ‡	他域の教育力を生かした保育・教育を推進する。
	保護者の園行事等への参加
	地域資源の積極的な活用
2 子ども	・子育て支援事業の推進
(1) 多様な	な子育て家庭に対応した事業の推進に努める。
1) 1	家庭の教育力向上を図る。
	『頭のよい子に育てるために今すぐ絶対やるべきこと』(川島隆太 博士著)
	を活用した家庭の教育力向上
2 4	R護者の就労等へ対応した保育所運営、預かり保育・放課後児童健全育成事業の
3	だ実を図る。
	待機児童ゼロの継続
	預かり・放課後児童保育支援員研修会及び児童館長による巡回指導の実施
	幼稚園や小学校、保護者との情報の共有化
	預かり・放課後児童保育の長期休業中等を中心とした体験活動の充実
	預かり・放課後児童保育の特別な支援を必要とする園児・児童に対する保育の充
美	
	保育所及び支援員の確保と保育の質の維持向上
3 -	子育て世代に対応した経済的支援の推進に努める。
	入園児への入園祝い品(制服)支給事業の実施
	給食費保育者負担の軽減
	在園・在所児の病児・病後児保育利用料助成事業の実施

学校教育の重点

- 教員の指導力の向上と教育内容の充実を図り、「確かな学力」「豊かな心」「健 やかな体」の調和的・一体的・関連的な育成を基盤として、児童生徒の「生きる 力」をはぐくむ。
- 「桑折町の15歳のめざす姿」の実現をめざし、幼稚園から小学校、中学校までの育ちと学びの連続性と一貫性を大切にした教育を推進する。特に、生活習慣の改善・学力向上・体力向上・生徒指導・特別支援教育の充実の5点に重点的に取り組む。

1 学力向上を図る取組

- (1) 生活の基盤づくり
 - ① 脳科学の研究成果を活用して、生活習慣の改善・学習習慣の確立を図る。
 - □「読書がたくましい脳をつくる」(川島隆太 著)を活用した特別授業の実施
 - ② 生活改善・充実のための働きかけに努める。
 - □ 「家庭学習スタンダード」や各校の手引きに沿った家庭での学習の充実
 - □ 桑折町「家庭生活習慣のポイント」に基づく家庭生活習慣の改善

(2) 学習の基盤づくり

- ① 「読み・書き・計算の徹底反復」による、集中力や基礎的知識・技能の向上を図る。
 - □「読み・書き・計算の徹底反復」の効果的な取組及び研修会の充実
- ② 学びの質を高める学習集団を育成する。
 - □「桑折町小学校・学びのスタンダード」を基本とした学習態度訓練の徹底
- ③「家読(うちどく)」を中心とした読書活動の充実を図る。
 - □ 保護者との連携・協力による「家読」の奨励(家読運動とりくみコンクール等)
 - □ 学校司書の活用による学校図書・読書に関わる環境の充実(各小学校への巡回)
- ④ 児童生徒の学習を支援する「桑折学習塾」の充実を図る。
 - □ 小学生対象…算数(算数ジュニアオリンピックへの支援を含む)・国語(年8回)
 - □ 中学生対象…数学·英語(年16回)

(3) 授業の改善・充実

- ① ふくしまの「授業スタンダード」に基づく授業改善を徹底する。
 - □ 1校1指定公開等の授業研究の充実(内一つは秋田大学院阿部教授の指導により)
- ② 学力の実態把握と分析,対策の立案と実践に努める。
 - □ Hyper-QU の「NRT の学力とのクロス集計」結果を活用した学習集団の形成
 - □ 国・県の学力検査(4月実施)の分析と授業改善のための活用
- ③ 幼稚園、小学校と中学校との連携による授業研究の充実を図る。
 - □ 指導の連続性、専門性を深める幼稚園,小・中学校の連携による事前・事後授業研究会の充実(1校1指定の授業研究公開)
- ④ 教員の専門性を高める教職員研修の充実を図る。
 - □ 秋田の探究型授業等に学ぶための県外視察とその研修の共有化・共通実践

⑤ 小学校では新学習指導要領に基づく教育内容の実践と充実、中学校では移行を踏まえた教育内容の理解と研修に努める。□ 教員の専門性や実践的指導力の向上を図る授業研究会の充実
 (4) 新学習指導要領への対応 ① 指導体制を整備し、外国語(英語)教育の充実を図る。 □ 外国語指導助手(ALT)、英語指導協力員等と綿密な連携のもと、外国語科・外国語活動の TT 授業の充実 □ 小学校教員の英語指導力の向上をめざす外国語教育推進リーダーによる研修会 □ 英語検定受験の奨励と補助 ② 情報活用能力の育成に努める。 □ 電子黒板、デジタル教材等 ICT の更新に伴う研修会の充実と授業の改善 □ 学校や児童生徒の実態を踏まえたプログラミングの思考や技能の習得を図る工夫
2 体力向上を図る取組
 (1)生涯にわたり健康を支える体力づくり、学校体育の充実 ① 桑折町「子どもの体力向上プラン」に沿った体力づくりに努める。 □運動身体づくりプログラムの継続的な実践 □「新体力テスト」結果を受けて、運動能力向上と肥満児出現率減少に向けた取組 ② 体力向上に向けた「1 校 (学級) 1 実践」に取り組む。 □業間運動や昼休み等の時間の活用(長距離走の奨励),部活動の奨励 ③ 桑折町小学生陸上競技大会への積極的な参加を奨励する。 (2)健康に関する理解を深め、基本的生活習慣の確立をめざす取組 ① 家庭と連携して健康管理と基本的生活習慣の定着を図る。
② 自己の健康状態を把握し、自ら課題を解決していく学習を推進する。 □ 各種生活調査結果を活用した「保健便り」による家庭との連携 □ 肥満など健康課題に応じた体育授業・保健指導の充実
 (3) 安全・安心な学校給食を活用した「食育」の推進 ① 食材及び食品のモニタリング公表や健康維持増進のための情報を提供する。 □ 町ホームページや「献立表」「給食だより」等での食育に関する情報の提供 ② 栄養士と連携した「食育」の授業を推進する。 □ 各校における「食育授業」の計画的・継続的な実施 □ 家庭に対する朝食の質(食事内容)の改善への呼びかけ

3 心の教育の充実

2

- (1) 積極的な生徒指導の推進
 - ① 学校の教育活動全体に生徒指導の機能を生かし、不登校やいじめのない明るく生き 生きとした学校生活を実現する。

ア 自己指導力を育み,自己肯定感を醸成する生徒指導体制を確立する。
□ Hyper-QU 検査の実施とその結果の活用(「認め・誉める」指導を中心として)
ィ 幼稚園を含め,小中学校のきめ細かな情報連携・行動連携を一層推進する。
□ 桑折町生徒指導委員会と各校の生徒指導部会・教育相談係との連携
ゥ 児童生徒理解を基盤とした不登校の未然防止と迅速な対応を図る。
□ 不登校対策会議の開催(年1回)と情報の共有、組織的な対応の充実
□ 桑折町教育支援センターの設置と円滑な運営
ェ いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策を推進する。
□「いじめ問題対策連絡協議会」を核とした諸取組の充実(チェックリスト等の活用)
② 教育相談体制を確立し、開発的な教育相談を充実させる。
□ スクールカウンセラー,スクールソーシャルワーカーの積極的な活用
③ 情報モラル教育を充実させ、有害情報へのアクセス等による犯罪の実態と被害防止の
指導を家庭と連携して行う。
□ SNS モラル授業の実施や PTA と連携した研修会、啓発活動の企画への支援
(2) 自律的な生き方を追究する「道徳教育」の充実
① 道徳的価値を自分の事として捉え、多角的に考えたり議論したりする道徳授業の改善
ァ 道徳の時間における多様な展開を工夫する。
□ 特別の教科「道徳」のアクティブな授業づくり
ィ 意図的・計画的に道徳的実践力を高める場を設定する。
□ 毎時の道徳授業で行うポートフォリオ(道徳ノート等)に基づく認め・励ます評価
② 桑折町の15歳のめざす姿の「段階的スタンダード(徳・生活編)」に基づく日常生
活の充実に向けた支援を工夫する。
□ 各校の PTA 集会等での広報活動の充実
□ あいさつ運動や規範意識向上に向けた取組
(3) 心を揺さぶる学習, 体験活動・キャリア教育の充実
① 命の尊さ、社会性や規範意識、勤労意識などの「豊かな心」を育む体験活動、ボラン
ティア活動などを充実させる。
□ 農業体験、職業人に聞く、職場体験などの系統だったキャリア教育の充実
□ 「キャリア・パスポート」の累積と活用
② 郷土愛をはぐくむふるさと学習を充実させる。
ァ ふるさと学習を推進し、郷土に愛着をもつ機会の拡充に努める。
□ ふるさとの自然,文化や歴史等について「見る,知る,学ぶ」学習機会の拡充
□ 山城サミットに向け、「西山城址」を中心に故郷の歴史の調査研究活動の充実
ィ 各教科,総合的な学習の時間や道徳,特別活動,食育,土曜学習等における地域人
材の活用や地域素材の教材化を図る。
□ 地域素材や地域人材バンクの効果的な活用
③ 「非核平和のまち」として平和学習を推進する。
□ 被爆地(広島)への代表児童派遣と各校における平和学習の充実

4 その他の取組

4 て の他の
(1) 特別支援教育の充実
① 就学指導の改善に努め、特別な支援を必要とする児童生徒の支援体制の整備・充実
ァ 特別支援学級や通級指導教室(巡回型)の教育活動の充実に努める。
□ 校内における支援を必要とする児童生徒の情報共有(個別の支援計画や指導計画
の作成等)と幼小中連携のもとの支援体制の確立
ィ 教育的ニーズに応える支援体制の整備と研修会を企画し、指導力の向上を図る。
□ 校内就学指導委員会の活性化と適正な就学指導,教育相談の充実
□ 特別支援教育支援員研修会の充実(年3回)
ゥ 適正な就学に向けた情報の把握
□ 就学指導審議への資料収集と作成、及び審議会での説明
(2) 各種教育課題への対応
① 東日本大震災の体験等に基づいた安全教育, 防災教育・放射線教育の充実
ァ 身の回りの危険を予測し、自ら回避する能力や態度を育成する。
□ 危険箇所の確認や速やかな情報提供
ィ 系統的な安全学習と組織的な安全指導に努める。
□ 防災マニュアルの見直しを含む学校環境の適切な安全管理と関係機関との連携
ゥ 学級活動や総合的学習の時間等で、「身の安全・健康」を学習する機会を設定する。
□ リスクに対して安全・健康な生活を送るための放射線教育や防災教育の充実
② 低炭素・循環型社会に対応した環境教育を推進する。
□ ふくしま議定書の奨励や3R(Reduce, Reuse, Recycle)や再生エネルギーの学習
(3)教育環境の充実
① 教育施設の充実を図る。
□ 学校教育施設・設備の維持管理と今後の点検・整備のあり方についての検討
□ 廃止した学校プールの取扱いの検討
② 指導体制の充実
□「読み聞かせ」等の学習支援ボランティアの活用
③ 学校運営の改善
□ 統合型校務支援システムの導入
(4) 子育て世帯への学校教育にかかる経済的支援の充実
① 子育て世帯に対応した経済的支援事業の推進に努める。
□ 奨学資金制度の利用促進と充実の検討
□ 児童生徒への就学援助支給による経済的負担の軽減
□ 入学児童生徒への入学祝い品(制服や本贈呈〈川島博士著〉)支援事業の実施
□ 給食費の半額補助

生涯学習の重点

I

	日的課題や多様な町民ニーズの的確な把握に努める。
〇町	民が生涯にわたって学習できる機会の創出や情報の提供に努める。
	民の心身の健康づくり及び体力づくりにつながる学習機会の創出に努める。
I 生きが	いと自己実現をめざす生涯学習の推進
1 生涯等	学習の推進
(1) 生	涯学習推進体制の充実を図る。
	「生涯学習推進基本計画」(第2次)に基づく推進体制の確立。
	つでも、どこでもだれでもが学び合える生涯学習社会の実現のため、情報の提供
	民ニーズに対応する事業を行う。
	ICT 講習会,女性や子育て世代対象の講座等の開催,持ち込み講座の開催支援
2 ライ	フステージに応じた多様な学習機会の提供と内容の充実
(1)乳	幼児期から高齢期までの各ライフステージに応じて、求められる知識や技能を適切
に提	供することができるよう内容の充実を図り、創造的で活力のある活動の展開に努め
る。	
	こおりキッズスクール、こおり友遊くらぶ、かやのき学園を核とした活動の展開
	世代間交流事業、若者の活動の場の創出
3 社会	教育団体の活動奨励
(1)家	庭、学校、地域及び社会教育団体との連携を図るとともに、自主的学習を推進す
るサ	ークル等の活動を奨励・支援する。
	桑折町青少年育成町民会議事業の実施
	親子教室の開催支援
4 青少年	 上本験活動の積極的推進
	域の教育力の活用を図り、青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的に推進。
する	
, -	・ 体験活動・ボランティア活動支援センター事業の充実
	学校支援地域本部事業の充実
	こおり地域クラブの充実
	の将来を担う青少年に、健全成長と郷土愛をはぐくむために通過儀礼として
	の事業を実施する。
	中学2年生を対象に、将来への志を高める「立志式」
	成人を祝い、大人としての自覚を促す「成人式」
\Box	$PA/N \subseteq DUV \times JNJN \subseteq U \times V \cap DUUC DE J \cap PAJNVVV$

5 心を豊かにする読書活動の充実	
(1)遊学館「よも~よ」の読書環境・学習環境の充実を図り、親しまれる運営に	努める。
□ 桑折町読書活動推進計画に基づく学校図書室との連携、図書ネットワー:	クの推進
(2) 町民への図書の紹介や幼・小・中学校との連携を図り、図書の有効活用・	読書活動
の充実に努める。	P-11-27
□ ブックスタート事業の実施	
□ 中央公民館おはなしの会の実施	
6 芸術・文化団体活動の奨励・支援	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
(1) 町民の自主的な芸術文化活動を奨励・支援するとともに、活動成果発表や	'塩負機会
としての総合文化祭の充実に努める。	
□ 文化講演会等の開催	
□ 高齢者作品展の実施	
□ 文化団体連絡協議会活動支援	
7 社会教育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。	
□ 地域に根ざした地区公民館運営管理体制づくり	
□ 各施設の利用環境の向上,効果的利活用と安全維持管理	
Ⅱ 健康づくりをめざす社会体育・生涯スポーツの振興	
1 社会体育事業の推進	
(1) 身近な体育・スポーツ活動を通して,生涯にわたって健康の保持増進と生	きがいづ
くりに努める。	
□ 小学生陸上競技大会の開催	
□ 健康福祉課との連携による水泳教室等の開催	
□ 各種スポーツ大会の開催や健康づくり教室等の実施	
(2)総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会の自主的活動を奨励するととも	に,各種
事業での連携を深め、生涯スポーツの振興に努める。	
□ スポーツフェスティバル及び各種スポーツ大会の開催と加盟団体主催大	会の支援
□ スポーツ関係団体間の連携強化による活性化の支援	
2 社会体育施設の効率的・効果的な管理運営に努める。	
(1)「イコーゼ!」(屋内温水プール・多目的スタジオ)の安定的かつ効率的な利	活用に努
める。	
□ 小中学生水泳授業の実施,桑折町小学校水泳大会の開催	
□ 年代に応じた各種水泳教室の実施	
□ 夏季休業中におけるPTAとの連携したプール開放の実施	
□ 屋内遊び場の活用コンテンツの提供	
(2) 社会体育施設及び周辺施設の、整備・安全維持管理に努める。	
□ 体育施設群活用促進のための充実策の検討	
□ 各施設の利用環境の向上,効果的利活用と安全維持管理	

Ⅲ 文化財の保護活用

\bigcirc	「桑折町歴史的風致維持向上計画」	に基づく歴史資源を活かしたまちづくり
	の推進を図る。	

- 桑折西山城跡整備の推進を図る。
- 文化財やその他の歴史文化遺産、民俗芸能の調査、保存、継承に努める。
- 1 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づく文化財の保護・調査・活用の推進
- (1) 「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財や歴史的遺産の保存と活用を 図るとともに、歴史的風致の概念に合致しない歴史的文化遺産、民俗芸能については 同計画と連携しながら調査保存・継承に取り組む。

□ 全国山城サミット桑折大会プレ大会の実績

- □ 万正寺大カヤ周辺整備
- □ 史跡桑折西山城跡周辺整備
- □ 旧伊達郡役所周辺整備
- □ 歴史案内人育成と事業の推進
- (2) 文化財や補修の必要な文化財の復旧に努めるとともに、文化財の調査成果の公表と未 指定文化財の指定と保存・活用を図り、文化財保護精神の継承と郷土の歴史的文化継 承の普及啓発に努める。
- 2 史跡西山城跡保存整備事業の推進
- (1) 「史跡桑折西山城整備基本計画」「桑折町歴史的風致維持向上計画」に基づき、史跡 及びその周辺の整備事業を推進するとともに、適切な保存管理及び公開・活用に努める。
- 3 旧伊達郡役所・種徳美術館の適切な管理と活用の推進
- (1) 旧伊達郡役所の適切な保存管理と建物の公開・活用に努める。
- (2) 種徳美術館の適切な管理と所蔵品の公開に努める。

3 学校教育

(1) 保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧

[令和2年5月1日現在]

◆ 保育所

種別	園 名等	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX 番号	こども 園 長	所 長	学級数	園児数
	醸芳保育所	969-1613	桑島三 11- 21	582-3229	582-3229	齋藤小百合	片平真由美	6	101

◆ 幼稚園

種別	園名	郵便番号	所 在 地	電話番号	F A X 番 号	こども園長 兼 園 長	副園長	学級数	園 児
	醸芳幼稚園	969-1613	桑島三 11- 24	582-3014	582-3024	齋藤小百合	吉田 恵	1 0	2 2 1

◆ 小・中学校

種 別	校名等	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX 番号	校長	教 頭	学級数	児 童 生徒数
	醸 芳 小 学 校	969-1613	桑島三 2-8	582-2014	582-2021	高野 孝男	宍戸 和博	1 4	2 7 9
小学校	睦合小学校	969-1652	成田字堰上46-3	582-2469	582-2489	旗野 宣久	中島・伸樹	6	6 0
	半田醸芳小学校	969-1641	南半田字上田町5	582-3106	582-3799	遠藤 和宏	齋藤 知宣	6	9 9
中学校	伊達崎小学校	969-1662	下郡字細町1	582-5870	582-6830	大木 修	鈴木 文恵	7	7 0
校	醸 芳 中 学 校	969-1661	上郡字柳下5	582-3162	582-3157	石綿 厚	須賀 智	1 1	2 8 9

◆ 令和元年度 幼小中学校現職教育主題一覧

園・校 名	研究教科等	現 職 教 育 主 題
醸 芳 幼 稚 園	特別支援	「障害のある幼児などの状態に応じた指導を行うための体制について」について個々の 幼児の状況に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うために、現行 の体制にとらわれず、保育との関連や小学校との連接を踏まえて実践について探る。
醸 芳 小 学 校	全 教 科	教科の特質に応じて「見方・考え方を働かせ資質・能力を育てる 授業」〜国語科・算数科の授業を中心に〜
睦合小学校	全 教 科	ともに考え、自ら学びを深める児童の育成 〜主体的・対話的で深い学びの実現に向けて〜
半田醸芳小学校	全教科	ともに学び合い、磨き合う児童の育成 ~考えて、かかわって、深め合う授業の実践~学び合いの充実
伊達崎小学校	算 数	自ら考え、ともに学びを深める子どもの育成 〜見方・考え方を生かし働かせるための学習指導の工夫 〜
醸 芳 中 学 校	全教科	主体的に学習に取り組み、学び合い高め合う授業の創造 ~4つのステップを活かした問題解決的な学習を通して~

(2) 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革

令和2年3月末現在

【酸芳保育所】

- ・昭和26年 4月 経済の進展に伴う共稼ぎの増加、或いは母親の病気など乳幼児保育の必要性を重視し、町は県知事 の許可を得て昭和26年4月1日保育園を開設した
- ・昭和36年12月 保育室サンルーム 5坪増築(16.5 m²)
- ・昭和50年 4月 保育室改造10㎡ (北西保育室) テラス (16.52㎡)
- ·昭和53年 4月 保育室改造(南側2保育室)
- ・昭和55年 8月 新園舎改築工事着工
- ・昭和56年 1月 近代的な保育室が完成 定員120名
- ・平成12年 2月 大規模修繕工事完成(乳児室の整備)
- ・平成12年 4月 乳児保育開始 地域子育て支援センター開設
- ・平成20年 4月 町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
- ・平成23年 7月 所庭表土除去及び所舎の除染
- ・平成24年 2月 リアルタイムモニタリングポスト設置工事
- ・平成24年 5月 遊具除染及び施設周り除染
- ・平成25年 6月 緊急メールシステム導入

【酸芳幼稚園】

- ・明治42年 4月 字桑島に桑折幼稚園開設(県下第2番目)園児27人
- ・昭和22年 4月 醸芳幼稚園と改称
- ・昭和55年 1月 独立の現園舎完成 移転
- ・平成 6年 4月 2年保育に伴い職員室を増設。
- · 平成 6年 4月 2年保育開始
- ・平成10年 4月 預かり保育開始
- ・平成14年 3月 3年保育に伴い西側に園舎増築。
- ・平成14年 4月 3年保育開始6学級になる。醸芳小より分離し、独立園となる。
- ·平成18年 4月 専任園長配置
- ・平成20年 4月 町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
- · 平成 2 2 年 1 0 月 太陽光発電設置工事
- ・平成23年 7月 放射線量低減化のため園庭の表土除去、園舎の除染
- ・平成23年 8月 各保育室・預かり室クーラー設置
- ・平成24年 2月 リアルタイムモニタリングポスト設置工事
- ・平成24年 5月 遊具除染及び園舎周り除染
- ・平成25年 4月 緊急メールシステム導入
- ・平成26年 6月 築山、鉄棒・ジャングルジム・雲梯塗装、滑り台鉄筋修繕完了
- ・平成27年 9月 西側(年中・預かり保育室脇)フェンス設置
- ・平成29年 3月 醸芳幼稚園増築園舎落成、複合遊具新設、鉄棒更新
- ・平成29年 4月 町内4幼稚園(醸芳、睦合、半田醸芳、伊達崎)を統合した新生「醸芳幼稚園」開園
- ・平成29年11月 園舎改修工事(園長室、保健室、渡り廊下新設、職員室改修、) (固定遊具更新「ブランコ・ジャングルジム・雲梯〕)
- ·平成30年 4月 複合遊具撤去

【酸芳小学校】

- ・明治 6年 9月 字堰上に「公立桑折小学校」創立(木造45坪)
- ・明治 9年 6月 明治天皇東北巡幸時本校に御小休 木戸孝允「醸芳」揮毫
- ・明治19年 4月 西町に新校舎落成
- ・明治44年12月 字桑島の現在地に校舎新築(木造829坪)
- ・昭和 5年 4月 家政女学校併置(昭和15年実科高等女学校となる)
- ・昭和22年 4月 桑折町立醸芳小学校と改称、醸芳中学校併置
- ・昭和28年11月 創立80周年記念式 現校歌制定
- ・昭和33年 7月 プール建設落成(10m×25m)
- ・昭和35年 4月 児童数ピーク833人
- ・昭和38年 9月 創立90周年記念式 県造形教育研究会開催
- ·昭和40年 4月 体育館落成(鉄骨809m²)
- ・昭和43年 1月 センター制完全給食実施 校舎建築始まる
- ・昭和45年 1月 現在の校舎完成(鉄筋3, 239㎡)
- ・昭和48年10月 創立100周年記念式典挙行(はやぶさ像建立)

```
•昭和54年10月
           優良PTAとして文部大臣表彰
•昭和55年11月
           東北造形教育研究大会開催 学研教育賞受賞
·昭和59年11月
           東北理科研究大会開催
•昭和62年10月
           県体育研究公開 東京端光小との交流始まる (4月)
•昭和63年12月
           県学校体育優良校受賞 全国交通安全優良校受賞
• 平成 2年11月
           県指定国際交流推進研究校公開 中庭造園
· 平成 7年10月
           福島国体(ソフト)開始式に5・6年生参加 スポ少サッカー全国大会出場
· 平成 8年11月
           校舎大規模改造第1年次完成(普通教室棟)
· 平成 9年11月
           校舎大規模改造第2年次完成(特別教室・管理棟)県小教研社会科研究公開
· 平成 1 0 年 2 月
           コンピューター21台導入
· 平成12年10月
           醸芳っ子フェスティバル開始 学校評議員導入
• 平成 13年 4月
           校地内ビオトープ造成 学校支援ボランティア活動開始
· 平成14年 4月
           ボランティア普及協力校 コンピューター21台新調 地域交流センター完成
           県小教研音楽科研究公開 校庭造成
· 平成 1 5 年 1 0 月
· 平成 1 6年 2月
           福島夢実現プラン学力向上事業研究公開 航空写真撮影 防球ネット工事
· 平成 1 7年 4月
           学力向上拠点事業(17~19年度文部科学省指定)情緒障害学級設置
           安全ネットワーク会議設立
· 平成 2 1 年 4 月
           プール循環ろ過装置設置 校内インターホン設置
平成22年 2月
           各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成23年 3月
           東日本大震災発生(11日)以降臨時休業 地域交流センター避難所
・平成23年6月~7月 放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成23年 8月
           教室環境改善のためのエアコンの設置
・平成24年5月~8月 花壇,栽培園の表土除去 プール,校舎内(ベランダ,バルコニー等),体育館周り,遊具
           等の除染
           県小教研国語科研究公開
· 平成24年10月
· 平成 2 5 年 5 月 ~
           「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成25年10月
           太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
・平成26~28年度 学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
・平成26年 6月 校舎、ベランダの手すり等の塗装完了
・平成27年8月
           登り棒設置、体育館玄関引き戸交換
• 平成 28年 8月
           体育館北側汚染土撤去及び駐車場整備
· 平成 2 9 年 4 月
           かやの実(知的)学級設置
           「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定
平成30年 4月
          まなびかた教室設置
平成30年 月
           創立145年記念式
平成30年
        月
           「学びのスタンダード」推進事業公開(第二年次)
令和 元年
       月
           「学びのスタンダード」推進事業公開(第三年次)
【 睦合小学校 】
•明治 7年 8月
           慈雲寺に成田, 松原村組合立成田小学校開設
•明治 7年 9月
           観音寺に万正寺・平沢村組合立万正寺小学校開設
·昭和14年11月
           字堰上の現在地に新校舎完成
•昭和15年 4月
           児童数ピーク466人
·昭和16年 4月
           睦合村立国民学校と称す
·昭和30年 1月
           桑折町立睦合小学校と改称
•昭和35年 3月
           体育館の改築
•昭和39年 8月
           プール建設落成
           創立100周年、校旗、校章、校歌制定
•昭和49年 9月
•昭和58年 2月
           現在の校舎完成(1,825㎡)
·昭和59年11月
           町教育委員会指定国語科学習指導法研究公開
•昭和63年11月
           町教育委員会指定特別活動(集会活動)研究公開
• 平成 3年 1月
           「勉学の誉れ」基本・表彰規程設立
· 平成 4年11月
           小規模学校教育研究協議会会場校となる 学校田で収穫した米で収穫祭
· 平成 6年 8月
           創立120周年式典挙行
· 平成 6年 9月
           校舎裏山に遊歩道設置(PTA奉仕作業)
· 平成 7年 2月
           体育館改築(815㎡)
· 平成 7年 9月
           簡易駐車場完成(プール西側)
· 平成 8年 1月
           県書写書道研究会伊達(桑折)大会研究公開
· 平成 9年 7月
          校庭西根堰側防球ネット完成 睦合見守隊発足
```

· 平成 1 2年 3 月

コンピューター12台導入

- ・平成12年11月 ソニー教育論文優良賞受賞
- ・平成15年10月 県連PTA連合会長表彰
- ・平成17年~19年 学力パートナーシップ事業研究指定校
- ・平成18年~20年 うつくしま田んぼの学校事業指定校
- ・平成22年 2月 ふくしま議定書 優秀校 表彰
- ・平成22年 2月 各学年教室に電子黒板付テレビ設置
- · 平成 2 3 年 3 月 東日本大震災発生(11日)以降臨時休業
- ・平成23年6月~7月 放射線量低減化のため校庭の表土除去
- ・平成23年 8月 教室環境改善のためのエアコンの設置
- ・平成24年5月~7月 花壇・ 校舎裏表土除去、プール、校舎内(ベランダ、バルコニー等)、体育館周り、遊具等の除染
- ・平成25年5月~ 「学力向上地域連携事業」推進協力校
- ・平成26~28年度 学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
- ・平成26年 5月 創立140周年・現校歌制定40周年記念(運動会)
- 平成 2 7年 3 月 災害対応蓄電装置設置
- · 平成 2 7年 5月 校内放送設備更新
- ・平成28年 8月 校庭南側汚染土撤去
- ・平成29年 2月 体力向上優秀校表彰(ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト)
- ・令和 元年 7月 夏休みの友 児童写真表紙掲載

【 半田醸芳小学校 】

- ・明治 6年 4月 泉田泉秀寺に9村連合小学校を開設
- ・明治22年 4月 谷地,北半田,南半田の3村合併,北半田小学校へ
- ・昭和22年 4月 六・三制施行により、半田村立半田小学校と改称
 - 校歌制定(古積泰治作詞,佐藤広市作曲)
- ・昭和25年 4月 児童数ピーク 721人
- ・昭和30年 1月 桑折町立半田醸芳小学校と改称
- ·昭和48年 7月 創立100周年記念式典挙行
- ・昭和49年11月 学校給食優良校として文部大臣より表彰を受ける
- ・昭和51年10月 交通安全優良校として県より表彰を受ける
- ・昭和63年 1月 新校舎建築のため講堂、プール跡地に校地を造成する
- ・昭和63年 6月 よい歯の学校優良校として県歯科医師会の表彰を受ける
- ・昭和63年 8月 学校安全優良校として学校健康センターの表彰を受ける
- ・平成 1年 3月 現在の校舎完成(3,301㎡)(体育館972㎡)
- ・平成 2年 5月 新校舎落成式 (プール完成3月)
- · 平成 2年 9月 校舎周辺舗装, 教材園, 花壇, 南側植栽完成
 - 交通安全優良校として東北管区警察局より表彰を受ける
- ・平成 3年 6月 飼育舎完成
- · 平成 4年 6月 校庭遊具整備
- ・平成 8年 5月 マーチングバンド用ユニフォーム購入
- ・平成 8年 6月 よい歯の学校優良校として県歯科医師会の表彰を受ける
- ・平成10年 4月 緑の少年団結成
- ・平成11年 3月 コンピューター21台導入
- ・平成11年11月 花いっぱいコンクールで最高賞(県知事賞)を受賞
- ・平成12年 9月 半田山に学校林設置
- ・平成15年 5月 「創立130周年記念 大運動会」開催
- ・平成18年 1月 子ども見守り隊発足
- ・平成22年 2月 各学年教室に電子黒板付テレビ設置
- · 平成 2 2 年 1 0 月 体育館屋根修理
- ·平成23年 3月 東日本大震災発生(11日)以降臨時休業 体育館避難所
- 平成 2 3 年 3 月 太陽光発電装置設置
- ・平成23年6月~7月 放射線量低減化のため校庭の表土除去
- ・平成23年 8月 教室環境改善のためのエアコンの設置
- ・平成24年5月~8月 花壇, 栽培園の表土除去 プール, 校舎内(ベランダ, バルコニー等), 体育館周り, 遊具等の除染
- · 平成 2 5 年 4 月 校庭遊具塗装
- · 平成 2 6 年 5 月 低鉄棒設置
- ・平成25年5月~ 「学力向上地域連携事業」推進協力校
- ・平成26~28年度 学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校

- · 平成 2 7年 3 月 災害対応蓄電池室設置
- ・平成28年8月~9月 校庭汚染土校外撤去並びに校庭周辺フェンス設置
- ・平成29年11月 ふくしんこども応援賞 最優秀賞受賞

【 伊達崎小学校 】

- ・明治 5年10月 大林寺に小学校開設
- ・明治 6年 9月 宮内に校舎新築移転
- ・明治26年 6月 伊達崎尋常小学校と改称
- ・昭和 3年 5月 現在地に新校舎落成
- ・昭和15年 4月 児童数ピーク626人
- ・昭和16年 4月 国民学校令公布 伊達崎村立国民学校と改称
- ・昭和30年 1月 桑折町立伊達崎小学校と改称
- ・昭和39年 6月 プール完成
- 昭和40年10月 県教委指定体育学習指導研究公開
- ·昭和47年10月 創立100周年記念式典挙行
- ・昭和51年 8月 現在の校舎完成(2,175㎡)
- ・昭和52年 1月 校内放送機器設置,校内カラーテレビ放送開始
- ·昭和53年 1月 屋内体育館完成 (670 m²)
- ・昭和61年 3月 フィールドアスレチック施設設置
- ·平成 4年10月 統計教育文部大臣賞受賞
- ・平成 5年 4月 校庭南側歩道及びフェンス設置
- ・平成 8年 3月 校庭南側に桜苗木植栽・新型焼却炉設置
- ・平成 9年 2月 マーチング・キーボード、ユニフオーム購入
- ・平成 9年 3月 保健室・職員室にブラインド設置
- ・平成11年 4月 学校指導協力員制度始まる
- ·平成12年 4月 学校評議員制発足
- ・平成13年 3月 コンピューター13台導入
- ・平成13年 5月 ビオトープ「どろんこパラダイス」完成 インターネット接続開始
- ・平成14年 9月 体験果樹園「桃の楽園」開園
- ・平成14年10月 「創立130周年記念 学習発表会」開催
- ·平成15年10月 創立130周年記念学習発表会
- ・平成15年12月 地域イントラネット事業により公共施設との接続開始
- ·平成17年 3月 校庭東側道路拡張
- ・平成17年 7月 ウサギ小屋完成 プール送水管修理
- ・平成17年11月 校庭東側に植樹
- ・平成20年 7月 校舎耐震・大規模改修工事
 - ~21年12月
- ・平成22年 2月 各学年教室に電子黒板付テレビ設置
- ・平成22年 6月 校庭全面芝生化 (うつくしまグリーンプロジェクト)
- ·平成23年 3月 東日本大震災発生(11日)以降臨時休業 体育館避難所
- ・平成23年 6月 放射線量低減化のため校庭の表土除去
- ・平成23年 8月 教室環境改善のためのエアコンの設置
- ・平成24年5月~6月 花壇、栽培園の表土除去 プール、校舎内(ベランダ等)、体育館周り、遊具等の除染
- ・平成24年10月 県小教研国語科研究公開協力校(授業提供・研究発表)
- ・平成25年5月~ 「学力向上地域連携事業」推進協力校
- ・平成25年10月 太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
- ・平成26~28年度 学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校
- ・平成26年10月 校庭防球ネット設置
- ·平成27年 6月 校庭全面芝生化
- ・平成28年 8月 駐車場汚染土撤去及び整備
- ・令和 2年 3月 特別支援学級(わかくさ)設置

【 醸芳中学校 】

- ・昭和22年 4月 桑折、睦合、半田、伊達崎に各新制中学校創立
- ・昭和28年 7月 字道下に新校舎、体育館落成
- ・昭和29年12月 桑折、半田を統合 桑折町・半田村組合立醸芳中学校となる
- ・昭和30年 8月 校旗、校歌を制定
- ・昭和34年10月 33・34年度文部省指定産業教育(職業家庭)研究発表
- ·昭和35年11月 創立10周年記念式典挙行

- ・昭和36年 4月 睦合、伊達崎を統合・校舎増築、桑折町立醸芳中学校となる
- ・昭和37年11月 優良PTAとして県教育委員会表彰
- ・昭和38年 8月 プール完成(25m×15m, 8コース)
- ・昭和40年 4月 統合後の生徒数ピーク 1,140人,特殊学級を開設
- ・昭和42年10月 創立20周年記念式典挙行
- ·昭和43年 1月 完全給食開始
- ・昭和51年 5月 機械警備ガードマン制導入
- ・昭和52年11月 TBCこども音楽コンクール東北大会吹奏楽最優秀賞
- ・昭和54年 3月 アンサンブル全国大会金賞(金管四重奏)
- ・昭和57年11月 56・57年度文部省指定生徒指導研究発表
- ・昭和58年 7月 県中学校総合体育大会バスケットボール優勝 (男子)
- ・平成 2年 8月 3年教室および廊下の腰板修理
- ・平成 3年 7月 新校舎建築着工(現在地)
- ・平成 3年11月 東北放送子ども音楽コンクール東北大会 優秀校
- · 平成 4年 6月 新校舎体育館建築着工
- ・平成 5年 2月 新校舎・体育館完成(校舎6,587㎡)(体育館1,752㎡ 柔剣道場561㎡)
- ・平成 5年 2月 現在地字柳下に校舎移転改築
- ・平成 5年 4月 コンピューター設置
- ・平成 5年12月 校舎落成式 (プール、テニスコート完成)
- ・平成 6年11月 陶芸室完成
- ・平成 7年 3月 校舎、プール周辺の舗装完成
- ·平成 8年 1月 平成 6 · 7年度県教委指定書写指導研究発表
- ・平成 9年 5月 創立50周年記念植樹・記念碑建立(同窓会)
- ・平成10年10月 平成9・10年度文部省指定人権教育公開研究会
- ・平成10年12月 コンピューター42台導入
- ・平成11年 4月 新制服制定(新入生よりエコ製品採用)・インターネット回線接続
- ·平成11年10月 PTA基金事業除幕式
 - ・オルゴール放送設備の設置 ・生活活動記録掲示板の設置
 - 校歌歌碑移転
- · 平成 1 3 年 3 月 屋外大時計設置
- ・平成13年 8月 東北中学校ソフトテニス大会 第3位
- ・平成13年 8月 全日本中学校ソフトテニス大会出場 2回戦進出
- ・平成14年 4月 新教育目標設定・インターネット光ファイバー回線接続
- ・平成15年 8月 野球グランド内野全面改修
- · 平成 1 8 年 1 0 月 中学校教育研究会県大会特別活動部会
- ・平成20年10月 東北放送こども音楽コンクール東北大会管楽合奏優秀賞
- ・平成21年10月 東北放送こども音楽コンクール東北大会最優秀賞サックス五重奏
- ・平成22年 2月 各学年教室に電子黒板付テレビ設置
- · 平成 2 3 年 3 月 東日本大震災発生 (11日) 以降臨時休業
- 平成 2 3年 3月 太陽光発電装置設置
- ・平成23年 6月 放射線量低減化のため校庭の表土除去
- ・平成23年 8月 教室環境改善のためのエアコンの設置
- ・平成24年6月~7月 グランド斜面、プール、校舎内(ベランダ、バルコニー等)、玄関前、体育館・テニスコート周り 等の除染
- ・平成25年 5月~ 「学力向上地域連携事業」推進拠点校
- ・平成25年11月 平成25年度放射線教育推進支援事業実践協力校として授業公開
- ・平成26~28年度 学力向上のための「つなぐ教育」推進事業拠点校
- · 平成 2 7年 3 月 災害対応蓄電装置設置
- ・平成29年 1月 テニスコート人工芝全面張替

醸 芳 小

- 1) 梅津 清平 M6~
- 2) 黒井小源太 M9~
- 3) 堀 退蔵 M10~
- 4) 保山 清 M11~
- 5) 堀 退蔵 M12~
- 6) 永井 道忠 M14~
- 7) 阿部德次郎 M15~
- 8) 佐川 重善 M16~
- 9) 若山 直章 M18~
- 10) 佐川 重善 M19~
- 11) 斎藤 重太 M19~ 12) 門馬 貞蔵 M20~
- 13) 加藤 隆瑞 M21~
- 14) 常見 甫 M27~
- 15) 加藤 隆瑞 M31~
- 16) 天野 景明 M31~
- 17) 山崎 朋之 M33~
- 18) 武川 教義 M36~
- 19) 加藤友之助 M39~
- 20) 松井 秀英 M40~
- 21) 今野甚三郎 T 2~
- 22) 岡山幸太郎 T 6~
- 23) 大木喜代2進 T11~
- 24) 船木善四郎 T12~
- 25) 仲村辰四郎 T15~
- 26) 前川 三省 S 5~ 27) 草野 佳政 S 7~
- 28) 菅野 圓蔵 S 9~
- 29) 三浦 寛一 S16~
- 30) 紺野長四郎 S18~
- 31) 佐藤庄左뻶 S19~
- 32) 遠藤 經 S21~
- 33) 武藤 昌 S30~
- 34) 佐久間武善 S36~
- 35) 五十嵐秀夫 S41~
- 貞 S50~ 36) 原田 37) 古山 直一 S53~
- 衛 S56∼ 38) 目黒
- 39) 佐藤 弘 S59~
- 40) 松田 源治 S60~
- 41) 鴨田 喜夫 H 1~
- 42) 永井 俊博 H 3~
- 43) 大竹 英智 H 5~
- 44) 佐藤 榮壽 H 7∼
- 45) 矢葺 光政 H10~
- 46) 石岡 恒憲 H13~
- 47) 古宮 睦男 H17~
- 48) 村上 幸男 H20~ 徹 H23.8~
- 49) 高橋
- 50) 会田 智康 H25~
- 51) 伊藤 好幸 H27~
- 52) 木村 政文 H29~
- 孝男 H31~ 53) 高野

伊達崎小

- 1) 宍戸 遵 M5∼
- 2) 西山 正躬 M6~
- 3) 渥美 榮蔵 M11~
- 4) 本多 定積 M12~
- 5) 小澤正太郎 M13~
- 6) 大鷹三之助 M13~
- 7) 堀 捨次郎 M14~ 8) 室原 啓三 M15~
- 9) 末永 敬明 M17~
- 勉 M18~ 10) 柚原
- 11) 永井延次郎 M20~ 12) 猪城徳二郎 M21~
- 13) 石上三郎平 M22~
- 14) 長澤清太郎 M27~
- 15) 加藤 丈吉 M29~
- 16) 瀬谷市太郎 M34~
- 17) 木幡 次郎 M40~
- 18) 一條 七蔵 M42~
- 19) 野地 榮 T 3∼
- 20) 仲村辰四郎 T 9~
- 21) 黒澤 眞明 T11∼
- 22) 高玉 良助 T13~
- 23) 菅野 勝美 T15~
- 24) 三浦 寬一 S 8~
- 景助 S14~ 25) 近藤
- 26) 塩田 柘雄 S18~
- 27) 安部 丑亥 S21~
- 28) 鈴木 正孝 S22~ 29) 鈴木 正一 S24~
- 30) 古川松太郎 S30~
- 31) 内池 謙三 S36~
- 32) 黒羽 健三 S40∼ 33) 安斎 武 S43~
- 34) 菅野 甫 S46~
- 保男 S51~ 35) 鈴木 36) 八島 完 S57~
- 37) 長根 智 S62~
- 38) 大竹 英智 H 2~
- 39) 戸井田 健 H 5~
- 常雄 H 7~ 40) 松浦 富雄 H 9~ 41) 小澤
- 42) 角田 俊雄 H13~
- 一良 H17~ 43) 菱沼
- 44) 高橋 徹 H20∼
- 45) 丹治 睦雄 H23.8~
- 46) 坂本 貴洋 H25~
- 47) 宮内 憲司 H28~ 48) 半澤 正保 H30~
- 49) 大木 修 R 2~

半田醸芳小

〈一部不詳〉

- 1) 大波 廣吉 M22~
- 2) 佐久間兼蔵 M24~
- 3) 菅野 忠夫 M29~
- 4) 志賀 敏 M34~
- 5) 愛澤辰次郎 M36~
- 6) 藤本 春児 M38~
- 7) 三木常次郎 M42~
- 8) 佐藤子之松 T 1~
- 9) 安藤 保蔵 T 4~
- 10) 宮崎喜三郎 T 6~
- 11) 井上鉄次郎 T 9~
- 12) 清信留之助 T11~
- 13) 斎藤 芳夫 T12~
- 14) 清野 一郎 S 2∼
- 15) 金澤 武夫 S 8~
- 16) 小松 光治 S15~
- 17) 上田 盈 S16~
- 18) 高橋 廣記 S19∼
- 19) 蔭山 亮心 S21~ 恭三 S27~
- 20) 西 21) 五十嵐秀夫 S34~
- 22) 大谷 香 S39~
- 23) 古川 安之 S41~
- 24) 黒羽 健三 S43∼
- 25) 泉 幸一 S47~
- 26) 熊坂 修一 S49~
- 27) 宍戸 成男 S53~
- 28) 大杉 光夫 S56~ 29) 猪俣 好巳 S60~
- 30) 高山 胤能 H 1∼
- 31) 小平 光雄 H 4~
- 32) 佐藤 洋一 H 7∼
- 33) 石岡 恒憲 H 9~ 34) 飯塚 哲 H11~
- 35) 村上 幸男 H15~
- 36) 佐藤 吉則 H18~ 37) 山内 雄和 H21~
- 38) 伊藤 好幸 H24~ 39) 福士 久子 H27~
- 40) 宍戸 広子 H29~ 41) 遠藤 和宏 R 2~

睦 合 小

〈一部不詳〉

- 1) 石田 弼常 M32~
- 2) 鹿山 林造 M33~
- 3) 佐藤 祐蔵 T10~
- 4) 佐藤 勘六 S 1~
- 5) 横山 繁治 S 4~
- 6) 伊達 忠 S15~
- 7) 上田 信蔵 S17~
- 8) 豊島 桂一 S22~
- 9) 鈴木 正恵 S26~
- 10) 氏家久仁夫 S34~
- 11) 大谷 香 S36~
- 安之 S39~ 12) 古川
- 13) 山川 和二 S41~
- 14) 油井 悦治 S43∼
- 15) 佐藤 弘 S49~
- 16) 半澤 正 S52~
- 17) 鈴木 子郷 S54~
- 18) 山本 昌行 S59~
- 19) 長谷川壽子 S63~ 20) 熊耳 昭壽 H 3~
- 21) 三浦 哲夫 H 5~
- 22) 安倍 幸夫 H 8~
- 23) 中川 源美 H10~
- 24) 渡邉 和夫 H12~ 25) 大橋 芳光 H14~
- 26) 我彦 武 H17~
- 27) 菊池 淳 H20~ 28) 菅野 敦子 H22~
- 29) 五十嵐正彦 H25~ 30) 大槻 誠 H28~

31) 旗野 宣久 H31~

- 芳 中
- 1) 高田哲太郎 S25~
- 2) 岩谷 唯近 S29∼ 3) 遠藤 力 S40~
- 4) 遠藤 伊雄 S46~
- 6) 萩原 盛良 S52~

健三 S48~

榮治 H 2∼

5) 黒羽

10) 大草

- 7) 黒須 撰三 S54~ 8) 大友 寛 S57~
- 9) 須永 英次 S60~
- 11) 紺野 明男 H 5~
- 12) 田中 民二 H 7~ 13) 菅野金四郎 H10~
- 14) 武田 正昭 H15~
- 15) 湯田 健一 H17~ 16) 鈴木喜三郎 H20~
- 17) 蓬田 吉穂 H25~ 18) 神野 與 H27~
- 19) 大木 修 H29~
- 厚 R 2~ 20) 石綿

(4) 中学校卒業生の進路状況

令和元年度 藤芳中学校の進路状況

(令和2年5月1日現在)

学 科 の 種 類	学科	県(国)立	私立						
普通教育を主とする学科	普 通 科	3 7	2 2						
	農業に関する学科	3							
	工業に関する学科	9	9						
	商業に関する学科	3							
	家庭(食物・福祉)に関する学科		3						
専門教育を主とする学科	<u>看護に関する学科</u>		1						
	情報に関する学科								
	理数に関する学科								
	美術に関する学科	2							
	外国語に関する学科								
	国際文化に関する学科	1							
	文理に関する学科	1							
	スポーツに関する学科								
総合的に施す学科	総合学科	4							
	計 60								
Î	計		9 5						

〈参考資料〉

_ \ >	(> JR11 /											
課		私立高校				そ						
程	全日制	定時制	通信制	特別支援	全日制	通信制	国立	就職	の他	合 計		
男	2 7	1		1	1 5	1				4 5		
女	2 8	1		1	1 7	2	1			5 0		
計	5 5	2		2	3 2	3	1			9 5		

(5) 児童生徒数の推移と令和元年度児童・生徒数

(令和2年5月1日現在)



令和2年度「児童・生徒」数

(令和2年5月1日現在)

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
男子	4 9	3 5	5 3	3 8	3 7	4 6	5 2	4 6	4 8
女子	4 4	4 0	4 2	3 1	47	4 6	49	4 9	4 5
計	9 3	7 5	9 5	6 9	8 4	9 2	1 0 1	9 5	93

(6) 児童生徒の体位

児童生徒の体位 [平均値] (令和2年5月)

※ 全国平均…H31 (令和元)年度

年 齢	区分	身長(cm)	体重(kg)
1 др	L 73	男子	女子	男子	女子
6歳	桑折町	115.9	114, 4	21. 4	20. 9
(小1)	全国	116. 5	115. 6	21. 4	20. 9
7歳	桑折町	123. 2	120. 9	24. 5	23. 0
(/J\2)	全 国	122.6	121. 4	24. 2	23. 5
8歳	桑折町	128. 5	126. 7	28. 5	26. 5
(小3)	全 国	128. 1	127. 3	27. 3	26.5
9歳	桑折町	133. 1	132, 3	31.0	29, 6
(/ʃ\4)	全 国	133. 5	133. 4	30. 7	30.0
10歳	桑折町	139, 6	139. 7	37. 2	33, 1
(小5)	全国	139. 0	140. 2	34. 4	34. 2
11歳	桑折町	144.8	146, 3	39. 0	39. 5
(⅓,6)	全 国	145. 2	146. 6	38. 7	39. 0
12歳	桑折町	153. 7	152. 1	46. 3	46.0
(中1)	全 国	152. 8	151. 9	44. 2	43.8
13歳 (中 2)	桑折町	160.7	154.7	50. 3	47.9
	全 国	160. 0	154. 8	49. 2	47. 3
14歳	桑折町	165. 9	157. 0	57. 8	52. 1
(中3)	全 国	165. 4	156. 5	54. 0	50. 1

児童・生徒の身長・体重の推移(過去5年間)

〇身長

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
	1年	117.0	116.9	116.7	117.0	117.2
	2年	122.4	122.9	122.9	122.9	123.0
小学校	3年	128.7	128.6	128.5	128.4	128.2
小子权	4年	133.7	133.9	133.9	134.0	133.4
	5年	139.1	140.1	139.4	140.8	139.1
	6年	146.9	146.5	146.2	145.1	145.7
	1年	154.1	153.8	153.6	153.2	153.2
中学校	2年	160.2	161.0	161.1	160.5	161.0
	3年	167.5	165.6	165.3	166.5	166.4

(単位 :cm)

女 引	Z					(平位 .011)
× 1		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
	1年	114.9	114.9	115.1	115.2	115.1
	2年	122.0	121.1	121.5	120.3	120.9
小学校	3年	127.0	128.2	126.6	127.7	126.5
小子权	4年	135.0	133.0	134.6	132.0	132.5
	5年	140.0	141.6	140.4	139.6	139.5
	6年	146.1	146.0	148.2	145.4	147.3
	1年	152.6	152.4	150.9	152.5	151.7
中学校	2年	154.9	155.7	155.3	153.7	155.6
	3年	156.8	156.6	157.0	156.8	155.4

〇体重

(単位 :Kg)

男 子						\ 1 I=
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
	1年	21.5	22.4	21.7	21.8	21.7
	2年	24.8	24.2	25.3	25.2	25.2
小学校	3年	27.6	28.2	27.1	28.3	27.3
小子仪	4年	32.4	31.3	31.7	31.7	32.5
	5年	35.5	36.8	35.3	37.2	34.7
	6年	39.9	39.9	40.6	38.7	40.5
	1年	46.5	46.0	45.8	44.8	46.1
中学校	2年	51.0	51.1	50.8	50.2	52.6
	3年	56.8	55.5	55.7	54.2	56.1

(単位 :cm)

女 子						(単位 :cm)
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
	1年	20.6	20.6	20.6	21.1	20.5
	2年	24.9	23.1	23.1	23.4	22.8
小学校	3年	26.4	28.4	26.3	26.4	26.4
小子权	4年	33.1	30.1	31.8	29.8	28.9
	5年	36.3	38.0	34.8	34.7	34.5
	6年	40.7	40.9	42.7	38.2	40.9
	1年	45.7	47.7	45.1	46.3	44.8
中学校	2年	48.5	50.0	49.2	49.1	49.9
	3年	50.2	51.3	52.6	51.8	52.6

(7) 学校給食事業

- 1. 学校給食の目標
- (1) 適切な栄養の摂取による健康の維持増進を図ること。
- (2) 日常生活における食事について、正しい理解と健全な食生活を営むことができる判断力 を培い、望ましい食習慣を養うこと。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- (4) 食料の生産、配分及び消費について、正しい理解に導くこと。
- 2. 学校給食センター沿革

昭和43年 1月 桑折町伊達町国見町三町の学校給食センター方式による小・中学校 への完全給食開始

昭和51年 4月 米飯給食を導入

平成10年12月 バイキング給食を導入

平成12年 8月 桑折町学校給食センター(単町)による小中学校への給食開始 地元農産物導入

平成13年 4月 アレルギー対応食導入

平成13年 6月 セレクト給食導入

平成13年12月 テーブルマナー給食導入

平成14年 4月 地元産米の導入

平成23年 4月 幼稚園給食費無料化実施

平成24年 1月 食品放射能濃度測定器設置(給食センター 1台) 学校給食及び食材等の放射性物質濃度測定開始

平成25年 6月 食品放射能濃度測定器を桑折町役場桑島分庁舎へ移設

平成26年 4月 学校給食の調理・配送の全部委託

- 3. 学校給食センターの概要
- ●名 称 桑折町学校給食センター
- ●所 在 地 桑折町大字上郡字堰下45番地
- ●運営組織 学校給食センター運営委員会 町教育委員会 一 給食センター所長 一 栄養教諭 1名 調理員 11名 (委託)
- ●運営委員会構成 町小中学校長会 2人

こども園園長 1人

PTA代表 2人

学識経験者 1人

4. 給食状況 (令和2年5月1日現在)

区分	幼稚園	小学校	中学校	合計	摘 要
給食学校数	1 園	4校	1校	6校	給食センター職員等13名含む
給食人員数	251人	574人	3 1 4 人	1, 139人	1, 152人

一週間の給食の形態	パン	米飯	めん
	週1回	週3~4回	週0~1回

[※] めん給食は月1~2回程度。(めん給食がある週は米飯3回、めん給食がない週は米飯4回)

5. 学校給食センター施設のあらまし

① 給食センター本体

階別	面積(㎡)			内訳 (m²)	
	897. 70	玄関・ホール	15. 00	前室	34. 58
1		事務室	41.70	調理室	199. 60
		便所	10.00	サラダ室	16. 40
		検収室	31. 20	洗浄室	199. 40
		下処理室	35. 28	厨芥処理室	8.00
階		食品庫	12. 63	コンテナ室	102.00
		冷凍庫	7. 41	廊下	51. 00
		米庫	16.00	倉庫	12.60
		炊飯室	72.00	機械室	32. 90
2	143. 00	会議室	32.00	洗濯室	12.00
		男子休憩室	26.00	便所	16.00
階		女子休憩室	21. 50	廊下	35. 50
合 計	1040.70				

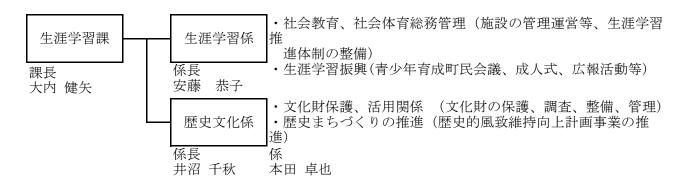
② その他

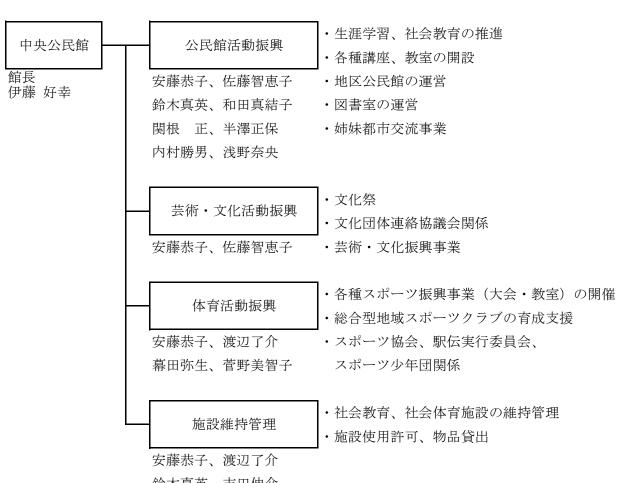
名 称	面積(m²)		
車庫	80.00		
自転車置場	4. 01		

4 生涯学習

(1)生涯学習課組織機構

令和2年04月01日現在





鈴木真英、吉田伸介

(2)生涯学習関係審議会・機関

【桑折町文化財保護審議会】条例により昭和51年設置 委員10名 任期2年(令和2年度~令和3年度)

氏	名	役職
吉田	良 典	観音寺住職
石 井	亮 佑	元桑折町郷土史研究会長
鈴木	文 夫	桑折町郷土史研究会長
渋 谷	浩 一	桑折町商工会長
笠 松	金 次	歴史研究家
斉 藤	純 雄	元桑折町史編纂専門委員
青 柳	良 憲	桑折町文化財保存会長
関 根	勉	桑折町歴史案内人
佐 藤	伴 美	無能寺住職
佐 藤	耕三	元福島県教育庁文化財課副課長

【桑折町社会教育委員の会議】条例により昭和30年設置 委員12名 任期2年(平成31年度~令和2年度)

氏 名	役職
石 綿 厚	醸芳中学校長(令和2年度~)
高 野 孝 男	町小中学校長会長 (醸芳小学校長)
岡田 和人	町PTA連絡協議会長
浅 野 隆 良	町文化団体連絡協議会長
半澤利津子	町女性団体連絡協議会
石幡 正則	町社会福祉協議会常務理事
青柳 良憲	学識経験者
山室 芳子	「地域クラブ」協力ボランティア代表
林 王 直 美	ファミリー文庫「ら・みるく」代表
山木 一芳	町スポーツ協会長
岡﨑 忠一	総合型地域スポーツクラブ会長
阿部 公嗣	「夢ほたる・こおり」事務局長

【桑折町スポーツ推進委員会】条例により昭和34年設置

委員8名 任期2年(平成31年度~令和2年度)

氏	名
山木	一芳
大 谷	葵
金 野	麻 衣
内村	勝男
渡 辺	重子
塩 谷	靖 夫
蓬 田	勝徳
幕田	俊一

(3)生涯学習関係団体

【桑折町青少年育成町民会議】昭和57年発足

会長 髙橋 宣博(町長)

副会長 本 間 英 樹、浅 野 剛 生、佐 藤 久 仁 夫、渡 邉 健 児 主な事業: 青少年育成町民大会、立志式、小学生意見発表会等

【桑折町スポーツ協会】昭和42年発足

会 長 山木 一芳

副会長 竹中 綾子、塩谷 靖夫

加盟団体:種目団体 17団体

スポーツ少年団 7種目

主な事業:加盟団体の活動奨励、各種大会への選手派遣奨励、各種大会

企画運営等

【桑折町スポーツ少年団】昭和46年発足

本部長 伊藤好幸(中央公民館長)

副本部長 岡田和人

加盟団体:7種目

主な事業:加盟団の活動奨励、各種大会への選手派遣奨励、指導者及

びリーダーの養成等

【桑折町文化団体連絡協議会】昭和50年発足

会 長 浅野 隆良

副会長 大野 俊昭、大槻純子

加盟団体:51団体

主な事業:加盟団体の活動奨励、町文化祭の企画・運営

(4)主な事業

[生涯学習関係]

社会教育·社会体育総務管理

- 1 社会教育委員の会議の開催及び研修会の実施
 - ① 桑折町社会教育委員の会議
 - ② 伊達地方社会教育委員連絡協議会
- 2 生涯学習推進会議・本部会議の開催
- 3 社会教育指導員設置事業
- ① 1名の指導員を中央公民館に配置
- 4 スポーツ推進委員の会議の開催及び研修会の実施
 - ① 桑折町スポーツ推進委員の会議
 - ② 伊達地方スポーツ推進委員連絡協議会
- 5 社会教育関係団体活動支援(補助金交付)
 - ① 桑折町PTA連絡協議会
 - ② 桑折スカウト育成会
 - ③ 桑折町青少年育成町民会議地区部会
- 6 文化関係団体活動支援(補助金交付)
 - ① 桑折町文化団体連絡協議会
- 7 スポーツ関係団体活動支援(補助金交付)
 - ① 桑折町スポーツ協会
 - ② 福島県縦断駅伝競走大会桑折町実行委員会
 - ③ 総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」

生涯学習振興

- 1 桑折町青少年育成町民会議事業
 - ① 青少年育成町民会議大会

令和2年7月8日(水)

② 桑折町立志式・記念講演会

令和3年2月5日(金)

③ 小学生意見発表会

小学校毎に実施

- ④ 地区部会での取り組み促進
- 2 桑折町成人式

令和3年1月10日(日)

- ① 式典
- ② 新成人のつどい
- 3 広報啓発活動
 - ① 「生涯学習だより」毎月1回発行
 - ② 町ホームページの更新(随時)

公民館活動振興

- 1 生涯学習関係各種研修会参加奨励事業
 - ① 子ども読書活動推進研修講座
 - ② 青少年育成活動推進等研修会
- 2 青少年関係
 - ① 少年教室 こおりキッズスクール事業

対象:小学校4~6年生

時期:4月~2月の休日 全6回程度

内容:キャンプ・もちつき・小物づくり・町内企業見学など

- ② 地域学校協働活動本部事業
 - ・地域学校協働活動推進員の配置による活動コーディネート
 - ・地域サポーターによる学校授業支援
 - ・こおり地域クラブ活動
 - ・体験チャレンジ活動
- 3 家庭教育関係
 - ① 親子教室

対象: 3歳から中学生までの親子

時期:通年

内容:料理教室・ダンス体操教室・キンボール教室等

② 家庭教育支援事業

対象:こども園及び小中学校のPTA会員対象

時期:通年

内容:家庭教育に関する講演・実技

- 4 成人関係
 - ① こおり友遊くらぶ

対象:一般成人

時期:4月~2月まで 年間8回程度

内容:社会教養・健康など参加者自らが学習テーマを設ける

② 成人向け講座

対象:一般成人、シニア世代

時期:通年

内容:「フラワーアレンジメント」、「シニア向け ICT 教室」「健康に関する講

座」など年間を通して各種講座を開催

③ 親子向け講座

対象:乳幼児から中学生と保護者など

時期:通年

内容:「百人一首あそび」「星空観察」「フラワーアレンジ教室」など各種講座

を開催

- 5 高齢者関係
 - ①「かやのき学園」

対象:概ね65歳以上の方

時期:通年

内容:テーマ学習「楽しく学ぶ『であい ふれあい まなびあい』」

全体学習 7回

地区館学習 3回程度

クラブ活動 5クラブ

文集「あゆみ」の編集

②「高齢者作品展」

対象:60歳以上

時期:文化祭展示会(令和2年10月24日~10月26日)

内容:日常制作した作品を展示

- 6 図書関係
 - ① 図書室運営
 - ② 中央公民館おはなしの会

対象:乳幼児

時期:毎月1回

内容:子育て支援センター利用者を対象にしたおはなしの会、

「よも~よ」のPR

- ③ ファミリー文庫活動への支援
 - ・おはなしの会による読書活動
- ④ ブックスタート事業

対象:乳児

時期:7ヶ月健診時に実施

内容:読み聞かせの重要性、推奨絵本の紹介、絵本のプレゼント、図書室紹

介等

- ⑤ 夏休み自主学習室の設置
 - ・よも~よ、各地区公民館の部屋を学習室として開放

国際交流推進

- 1 姉妹都市交流事業
 - ① 米国ケンタッキー州エリザベスタウン市からの訪問団受入 令和2年10月

芸術·文化活動振興

- 1 第45回桑折町文化祭 令和2年10月24日(土)~10月26日(月)
 - ① 総合展示会、高齢者作品展、芸能発表会、ダンス交流会等
- 2 第59回如月杯囲碁将棋大会 令和3年2月7日(日)

公民館施設管理

- 1 各地区公民館施設管理業務
- 2 各地区公民館使用貸出業務

[スポーツ振興関係]

体育活動振興

1 スポーツ活動・団体支援育成事業

① 駅伝チーム育成 ふくしま駅伝への参加

② 総合型地域スポーツクラブ支援 活動育成金の交付及び活動支援

③ 大会派遣奨励事業 全国大会等出場者への激励金交付

2 各種大会関係

① 桑折町民スポーツフェスティバル(12団体) 6月~

② スポーツテスト(体力年齢測定) 6月

③ 桑折町長杯ソフトボール大会 6月14日

④ 小学生陸上競技大会 9月19日

⑤ 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝) 11月15日

⑥ 館長杯バウンドテニス大会 11月23日

⑦ 館長杯バレーボール大会 3月 7日

施設維持管理

- 1 体育施設管理・運営業務
- 2 体育施設使用貸出業務

[文化·文化財関係]

文化財総務

- 1 文化財保護審議会の開催及び研修会の実施
 - ① 桑折町文化財保護審議会委員の会議
 - ② 桑折町文化財保護審議会委員先進地視察研修
- 2 文化財関係団体活動支援(補助金交付)
 - ① 桑折町文化財保存会
- 3 文化財防火デー実施
 - ① 文化財防火訓練

文化財保存整備

- 1 埋蔵文化財保護
 - ① 開発に伴う埋蔵文化財試掘調査
- 2 文化財・史跡等管理業務
 - ① 桑折西山城跡、半田銀山遺跡、つつじケ岡史跡公園等
- 3 史跡桑折西山城跡保存整備事業
 - ① 中館・西館周辺整備、ガイダンス施設整備

文化記念館管理運営

- 1 管理運営
 - ① 桑折町種徳美術館の公開
 - ② 旧伊達郡役所の保存・活用

歴史まちづくり関係

- 1 桑折町歴史的風致維持向上計画事業の実施
 - ① 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会
 - ② 桑折町歴史的風致維持向上計画庁内会議
- 2 桑折町歴史的風致維持向上計画に基づく事業
 - ① 史跡桑折西山城跡周辺整備関連事業
 - ② 万正寺の大カヤ周辺整備事業
 - ③ 旧伊達郡役所周辺整備事業
 - ③ 全国山城サミット桑折大会プレ大会 他

(5)生涯学習関係施設一覧

【公民館施設一覧】

区分	公民館名	電話	所 在
	桑 折 公 民 館	582-2564	〒969-1613
	(桑折町民会館)	962 Z904	桑折町字桑島三 103
	睦合公民館	2 00-0400	〒969-1652
	(睦合ふれあい会館)	582-2468	桑折町大字成田字坊ノ内 19-1
地区給		F00 4010	〒969-1662
地区館	伊達崎公民館	582-4313	桑折町大字下郡字堂ノ前 11-1
	半田公民館	F00 0101	〒969-1641
	(半田コミュニティーセンター)	582-3121	桑折町大字南半田字八反田 10-1
	中央公民館分室	#00-#200	〒969-1643
	(遊学館「よも~よ」)	582-5388	桑折町大字谷地字道下 6-1

【体育施設一覧】

区分	施設名	電話	所 在
体育館	町 民 体 育 館	582-3713	〒969-1661
14 月 日	町 民 体 育 館	002-0110	桑折町大字上郡字林泉寺前 1-1
	桑折テニスコート	¥00.0 5 10	〒969-1661
テニス	条 切 ケ ー ス コ 一 下	582-3713	桑折町大字上郡字弁慶 25-1
コート	睦合テニスコート		〒969-1652
	(閉 鎖 中)		桑折町大字成田字久保 15
運動場	町民運動場	582-3713	〒969-1661
上型别场 	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □	982 ⁻ 3713	桑折町大字上郡字弁慶 20-1
指入长 机	長内組みで は、夕日始っかごも	F00 0100	〒969-1661
複合施設	屋内温水プール・多目的スタジオ	582-3129	桑折町大字上郡字弁慶 20-1

【文化施設一覧】

		施	Ī		名			電	話	所 在
桑	折	町	文	化	記	念	館	582-	5507	〒969-1617 桑折町字陣屋 12

【その他の施設】

			施		設		名			所 在
桑	折	町	地	域	六	流	Ð	17	タ	〒969-1617
采	1)	ш1	끄만	坝	文	₹/IL	۷		9	桑折町字桑島二 21-1

5 社会教育・スポーツ関係沿革

- 昭和22年 桑折・睦合・半田・伊達崎公民館条例を制定し、各公民館を設置。
- 昭和24年 社会教育法公布。桑折町公民館県表彰。
- 昭和25年 第1回成人式挙行。伊達崎公民館に保原高校季節別学級設置。
- 昭和27年 松原公民館新築。青年学級・婦人学級・成人学級開設。
- 昭和29年 半田公民館新築及び県表彰。
- 昭和30年 町村合併により桑折町桑折・睦合・半田・伊達崎公民館と改称,公民館条 例制定。
- 昭和31年 桑折婦人学級開設(文部省委嘱)松原公民館県表彰。
- 昭和32年 旧桑折町役場庁舎に桑折公民館移転。
- 昭和33年 藤芳高校伊達崎分室設置。
- 昭和34年 桑折町公民館使用料条例を制定。
- 昭和36年 地区青年学級4学級を中央青年学級1学級とする。
- 昭和38年 桑折町公民館連絡協議会発足。第1回如月杯囲碁将棋大会開催。
- 昭和39年 各公民館に家庭教育学級開設。
- 昭和40年 各公民館の運営審議会を中央1本に統一。農村青年教室開設。
- 昭和41年 公民館機能を整備し、本館館長に教育長が就任。地区館長を兼務。 公館剣道場を桑折公民館に開設、第1回桑折町・国見町剣道大会開催。 第1回文化祭開催。農村建設班開設。
- 昭和42年 機構改革により公民館を統合し、桑折町公民館と改め、地区館を分館に、 分館を部落館とする。 文化講座開設。桑折町体育協会発足。
- 昭和45年 青年学級3コース制(農業専修・社会教養・家庭)とする。 委嘱婦人学級県表彰。
- 昭和46年 桑折町スポーツ少年団本部設置。桑折町青年会発足。
- 昭和47年 福祉センター完成、桑折町公民館は入る。
- 昭和48年 町民運動場完成、町民運動場条例制定。第1回大字対抗350歳ソフトボール大会開催。
- 昭和49年 町民体育館完成,町民体育館条例制定。第1回ふるさとの遊び講習会及び 大会開催。第1回館長杯争奪バレーボール大会開催。
- 昭和50年 優良公民館として県教委表彰。企業内青年学級2学級開設。 幼児家庭教育学級開設。スポーツ振興審議会条例制定。 文化団体連絡協議会発足。
- 昭和51年 町民プール完成。町民プール条例制定。優良公民館として文部大臣表彰。 桑折町社会教育振興計画策定。 桑折町体育協会を組織替えし、桑折町スポーツ協会と名称を変更。
- 昭和52年 第1回町民運動会開催。
- 昭和53年 児童向け図書巡回貸し出し開始(睦合・半田)。第1回少年ソフトボール大会開催。高齢者学級を高齢者大学・大学院制に改める。桑折町スポーツ協

会県教委表彰。

- 昭和54年 母と子の公民館活動 (親子読書教室) 開設。 第1回桑折町・国見町マラソン大会開催。
- 昭和55年 公民館剣道道場をスポーツ少年団に全面移管。 日独スポーツ少年団同時交流受け入れ。
- 昭和56年 ふるさと少年教室開設。高校生地域活動事業開設。婦人リーダー教室開設。 桑折町青年団体連絡協議会発足。 桑折町公民館を改築、桑折町民会館として完成(桑折公民館併設)。
- 昭和57年 桑折町青少年育成町民会議発足。青少年育成地区懇談会開催(20ヶ所)。 明日の親のための教室開設。
- 昭和58年 桑折町スポーツ協会文部大臣表彰。婦人ボランティア学級開設。 日独スポーツ少年団同時交流を受け入れ(2度目)。 学校開放事業「屋外運動場照明施設」伊達崎小学校に設置。 下成田集会所に(昭和53年完成)睦合公民館が入る。
- 昭和59年 高齢者教育促進会議・高齢者ボランティア教室開設。町内一周駅伝競走大会開催。360歳ソフトボール大会をスローピッチ450歳ソフトボール大会に改称。
- 昭和60年 桑折町合併30周年記念行事を開催。第31回全日本一般男子ソフトボール大会開催。青年ボランティアグループ「紙風船」県表彰。アジア地域スポーツ交流事業を実施(マレーシアと交流)。
- 昭和61年 中高年教育講座ナイスライフ教室開設。半田コミュニティセンター完成, 半田公民館が入る。桑折勤労者体育センター完成。 桑折町文化団体連絡協議会設立10周年記念式典挙行。
- 昭和62年 桑折町スポーツ協会設立20周年記念式典挙行。 日独スポーツ少年団同時交流受け入れ(3度目)。
- 昭和63年 伊達崎公民館完成。少年リーダー(中学生)研修会開設。 第15回東北総合体育大会(なぎなた競技)開催。 第41回福島県総合体育大会ソフトボール(成年2部)開催。
- 平成 元年 第16回福島県ゲートボール大会開催。第3回全日本クラブ男子ソフトボール普及大会開催。国際理解を深める少年教室開設。 桑折町スポーツ少年団日本スポーツ少年団表彰。
- 平成 2年 桑折町民テニスコート・クラブハウス完成。伊達崎女性講座開設。 第2回福島県縦断駅伝競走大会初出場。 ふくしま国体桑折町準備委員会発足。
- 平成 3年 L・Aクラブ (青年学級) 開設。半田コミュニティーセンター・伊達崎公 民館管理人を常駐にする。ふれあいコミュニティー広場完成。半田コミュ ニティーセンター駐車場舗装工事施工。
- 平成 4年 桑折町スポーツ協会を桑折町体育協会に名称変更。
- 平成 5年 睦合テニスコート完成。第50回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会開催。第1回熟年女子バレーボール大会開催。

ふれあい公園完成。町民運動場夜間照明設備完成。

日本男子ソフトボールリーグ2部第3節桑折大会を開催(国体開始式リハ 平成 6年 ーサル)。

平成 7年 第50回国民体育大会ソフトボール競技成年2部を開催。 桑折町文化団体連絡協議会設立20周年記念式典举行。

町公民館条例を改正、本館の名称を中央公民館に改め、分館制度を廃止す 平成 8年 る。

平成 9年 伊達崎公民館に自転車置場設置。

平成11年 睦合ふれあい会館完成、睦合公民館が入る。各地区公民館に館長(社会教 育指導員)を設置。各地区公民館ごとの管理運営等を統一。

平成13年 子ども情報誌を作成するための「伊達地区子どもセンター」設置。

平成14年 児童・生徒が休日を有意義に過ごすためにボランティア指導者による「こ おり地域クラブ」を開設。

「持ち込み講座」開設。ブックスタート事業実施。

桑折町スポーツ少年団結成30周年記念式典挙行。

平成15年 事務機構改革により中央公民館に生涯学習課を設置。 成人教室「町民カレッジ」を開設。家庭教育学級「親子教室」を開設。 桑折勤労者体育センター条例改正,名称を桑折町民第2体育館とする。

青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的・効果的に推進するために 平成16年 「桑折町体験活動・ボランティア活動支援センター」を中央公民館内に設 置。コーディネーター1名を配置。

「桑折町生涯学習推進基本計画」策定。

中央公民館外装改修塗装工事施工。

幼児用プール防水塗装改修工事施工。

平成17年 少年教室「こおりキッズスクール」を開設。

町民プール防水工事施工。

ふれあい公園整備工事施工。

桑折町文化団体連絡協議会設立30周年記念式典举行。

平成18年 各地区公民館長(社会教育指導員)を各館1名、計4名体制から、2館 1名、計2名体制へとなる。

各公民館に夏休み学習室開設。

睦合・半田・伊達崎公民館に休館日(毎週月曜日)を設ける。 平成19年 成人教室「町民カレッジ」を「こおり友遊くらぶ」に改名。 中央公民館に図書学習室を新設。

公民館・体育館関係条例を改正し、使用料を見直す。

平成20年 第20回全国生涯学習フェスティバルが開催。桑折町も見本市に出展。

平成21年 学校支援地域本部事業に取り組む。

平成22年 総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」が設立する。

第52回全国社会教育研究大会福島大会に参加。

中央公民館及び町民体育館の耐震補強計画を策定。

平成23年 東日本大震災により桑折町は震度6弱の震度を観測。甚大な被害が発生した。町民体育館は危険により閉鎖、中央公民館大ホールはステージと天井に被害を受け閉鎖する。また、福島第一原子力発電所の事故の影響により、町民プールの開設を見送る。

平成24年 中央公民館は東日本大震災被害及びアスベスト材使用が確認され休館となる。その間桑折公民館へ事務所を移す。 町民体育館は修繕不能のため解体。

平成25年 図書機能充実のため、民間の遊休施設を借り上げて、中央公民館分館(遊 学館「よも~よ」)を設置。

> 中央公民館や町民体育館が使用不能となったことで、町民の活動に支障を 来していることから、他施設の一部利用者の使用料を当分の間免除扱いと なる。

中央公民館解体撤去。

種徳美術館再開。旧伊達郡役所保存修理事業完了。

平成26年 姉妹都市交流事業として、エリザベスタウン市への訪問団派遣を再開。 町民運動場バックネット裏屋根工事施工。 睦合公民館維持管理工事施工。

平成27年 桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ!」完成、同条例制定。 「桑折町生涯学習推進基本計画(第2次)」策定。

平成28年 「イコーゼ!」内に、屋内遊び場開設。 国道4号施設案内標識を掛け替え。

平成29年 「中央公民館長」を専任配置。

「ふれあい公園」内に、屋根付屋外ステージ「ピーチウィング」完成。

平成30年 桑折町体育協会設立50周年記念式典挙行、同記念誌発行。 桑折町体育協会の名称を「桑折町スポーツ協会」に変更。

平成31年 桑折町体育施設条例及び桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ条例の一 (令和元年) 部を改正し、使用料を見直す。

「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。

「桑折西山城復元祭」を開催。

桑折町の15歳のめざす姿

桑折町教育委員会

桑折町においては、0歳から15歳の義務教育修了時までの、子どもの15年間の成長を見据えた教育を実施しています。その最終的な目標について、保護者・地域・こども園・学校等の教育にかかわる者すべてで共有するとともに、発達段階に応じて子ども自身にも理解させることにより、家庭・地域・学校等のそれぞれの教育の充実を図り、桑折の子どもたちの望ましい成長の実現をめざします。

高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとしている15歳

~社会的自立の基礎を身に付け、よりよい生き方を追求するとともに、社会の形成者としての基礎的資質を身に付け、共に生きようとしている15歳~

家庭

【知】 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。

変化の激しいこれからの社会において、一人一人が自立して生きるとともに、社会の発展を支えることができるように、確かな学力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- よりよい学習習慣・家庭習慣を身に付け、自ら進んで学習 に取り組むことができている。
- 基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得している。
- 習得した知識や技能をもとに、自ら考え、判断し、表現している。



地域

【徳】 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献し ようとしている。

ふるさと桑折町に生まれ育ったことに感謝しながら、今後もよりよい家庭・地域・社会を築いていくことができるように、郷土 愛・礼節・思いやりを身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。

- 歴史と伝統を尊び、郷土に誇りを持っている。
- 自他を思いやり、よりよい人間関係を築いている。
- 社会の一員として決まりを守り、礼節を重んじる態度を身 に付けている。

こども園

【体】 心身ともに健康で、たくましく生きるための体 力を備えている。

学校

- 一人一人が生涯を通して生き生きとした生活を送ることができるように、心身ともに健やかで、どんな困難 にも負けない精神力や体力を身に付けてほしいという願いのもと、具体的には次のような姿をめざします。
- 健康で安全に生きていくための知識や能力を身に付けている。
- 望ましい生活習慣や食習慣を身に付けている。
- 運動,スポーツに親しみ、心身の健康保持増進を図り、たくましい体力を身に付けている。

【目指す保育所像】

- ~笑顔と歓声あふれる保育所~
- ◆子どもも保育士も生き生きと活動している保育所
- ◆人々が親しむ、和やかさが醸し出されている保育 所
- ◆様々な遊びを誘発する新鮮で清潔な環境の保育所

【目指す保育士像】

- ◆社会人としての自覚を持つ保育士 モラルやルール、マナーを身に付けている
- ◆心身ともに健康な保育士
- 困難に負けない精神力と体力を身に付けている ◆保育目標を達成するために同僚性を持つ保育士
- 組織の一員として役割を果たそうとする
 ◆専門性の研鑚を積む教保育士
 カリキュラムマネジメントにおける PDCA の実施
 研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる
- ◆個々の特性を生かして保育にあたる保育士 発達段階を踏まえ、個々の乳幼児理解を深めながら保育 する
- ◆人間性豊かな保育士 所を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯 に取り組ま。

【食育】

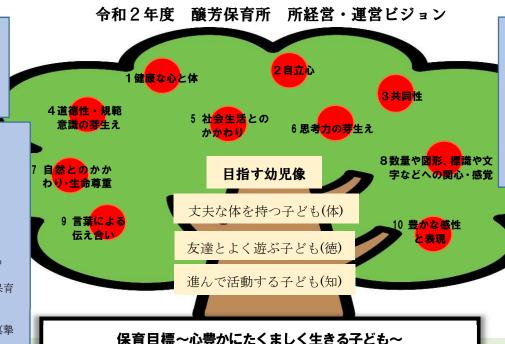
・食事の環境を整備し、食べた いという意欲を育て、食事のリ ズム・生活リズムを確立する。

【重点実践事項】

- ◆ 幼児の健康な心と体を育て、体を動かす心地よ さや楽しさを感じ取らせる保育士のかかわりの 工夫
- ◆豊かな心が育つように絵本に興味が持てる場合表示及び経験や活動の提示の工夫
- ◆知的好奇心を満足させるような環境の工夫
- ◆事故なく安心して生活できる環境の提供

【その他の事項】

- ◆保護者の養育力につながるよう支援し、家庭と の連携を図る。
- ◆自己評価を基本にしながら、保育指導力の向上につな がるよう、研修を深め、保育の充実に努める。
- ◆日本の伝統的な食事を取り入れ、栄養のバランスを 考え、衛生的で安全な食事を提供する。
- ◆アレルギー食への対応も行い。ヒューマンエラーを 最大限防ぐよう対応する。
- ◆乳幼児の望ましい「家庭生活のポイント」の確立にむけて、家庭との連携を図った取り組み、



【乳幼児の実態】

- ◆母親や家人・保育士に甘えたい気持ちが大きい
- ◆受容されることで、安心して過ごす
- ◆生活習慣の一つ一つを保育士と一緒にじっくり取り組む
- ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分な りの言葉や身振りなどで伝えようとしている
- ◆友達や保育士と一緒に遊ぶことを喜んでいる
- ◆絵本やお話を見たり、読んでもらったりすること を好む乳幼児が多い
- ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られる

【保護者・地域の願い】

- ◆安全、安心な環境での生活
- ◆基本的生活習慣の確立
- ◆たくさんの友達との円滑なかかわり
- ◆心身の健やかな成長
- ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の 形成

受容的・応答的関わりのもとで、非認

知能力を高める。

養護と教育が一体となった保育

◆生命の保持

養護

- ・安全な環境のもとで、生命の保持と生活の安定 愛情豊かな受容で、生理的欲求を満たし、自分で やろうとする意欲を育てる。 適切な生活リズムを繋える。
- ◆情緒の安定
- ・安心できる保育者との関わりの中で、情緒の安定 好奇心を持って、様々なものに関わる。

スキンシップの機会を多く持ち、心の安定を図る。 自我の芽生え(友達との関わりの経験の中から、 自分の思いや欲求を言葉で表現しようとしたり、 我慢しようとしたりする心の力を育てる。

【保・小・中との連携】

- ◆異年齢交流(幼保)
- ◆ボランティア、実習等の受け入れ

教育

【領域】

健やかにのびのびと育つ

- ◆健康(地行・運動・基本的生活習慣・安全・体を使った遊びを楽しむ。 身近な人と気持ちが通じ合う
- ◆言葉(聞く・発語・会話・絵本)・保育士との応答的な関わりの中から、簡単な言葉を使って自分の気持ちを表そうとしたり、言葉ややり取りをたのしんだりする。
- ◆人間関係(保育士・友達・地域の人々・家族)・保育士や友達に自分の思い や欲求を言葉で表現する。

身近な物と関わり感性が育つ

- ◆環境(玩具・遊具・自然・施設・動植物・身近な玩具・遊具・自然に触れ、 保育士や友達と一緒に遊ぶ。
- ◆表現(ベビーサイン・模放・見立てる・歌う・踊る)・興味のあるものを模倣 したり、保育士と一緒に歌ったり、踊ったりする。

【地域との連携】

- ◆地域の人や施設とのかかわり
 - サロン交流会・『イコーゼ!』の利用
 - ・ボランティア支援センターの活用
 - ・子育て支援センターとの交流

【家庭との連携】

- ◆所便り
- ◆毎日連絡帳の記入
- ◆降所時に保護者との 直接連絡等
- ◆PTA活動
- ◆規則正しい生活環境 づくりの推進 (生活リズム『早寝早 起き朝ご飯』の励 行)
- ◆幼児教育への理解促進 (家庭教育学級の実施・ ホームページの充実)

【目指す闡像】

~笑顔と歓声あふれる幼稚園~

- ◆子どもも教師も生き生きと活動している園
- ◆人々が親しむ、和やかさが醸し出されている 園
- ◆様々な遊びを誘発する新鮮で清潔な環境の園

【目指す教師像】

- ◆社会人としての自覚を持ち、モ ラルやルール、マナーを身に付 けている教師
- ◆心身ともに健康で困難に負けない精神力と体力を身に付けている教師
- ◆教育目標を達成するために同僚 性を持ち組織の一員として役割 を果たそうとする教師
- ◆主体的に研修や自己研鑽に励 み、専門性を高めようとする教 師
- ◆幼児一人一人のよさや可能性を 見いだし引き出していく教師
- ◆園を取り巻く様々な人との信頼 関係のもと、仕事に真摯に取り

令和2年度 醸芳幼稚園 園経営・運営ビジョン

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

1健康な心と体 4道徳性・規範 2 自立心

3共同性

5 社会生活とのかかわり

6 思考力の芽生え

8数量や図形、標識や 字などへの関心・感覚

と表現

10 豊かな感性

友達とよく遊ぶ子ども(徳)

丈夫な体を持つ子ども(体)

進んで活動する子ども(知)

教育目標~心豊かにたくましく生きる子ども~

目指す幼児像

【**幼児の実態**】 ◆経験したことや

えがお

◆経験したことや感じたこと、考えた ことを自分なりの言葉で伝えようと する幼児が多い

げんき

ほんき

- ◆友達や教師と一緒に遊ぶことを喜ん でいる
- ◆絵本やお話を好む幼児が多い
- ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られ、それに伴い体力・運動能力が向上している。
- ◆多くの友達とふれあうことで、お互 いに刺激し合い切磋琢磨している姿 が見られる。

【保護者・地域の願い】

- ◆安全、安心な環境での生活
- ◆基本的生活習慣の確立
- ◆たくさんの友達との円滑なかかわり
- ◆心身の健やかな成長
- ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地 の形成

【**5領域**】 ◆健康(運動・基本的生活習慣・安全)

◆人間関係(教師・友達・地域の人々・親)

◆表現(感性・閃き・創造性)

◆環境(自然・物・施設・動植物)

◆言葉(聞く・話す・絵本)

【重点実践事項】

- ◆「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を 考慮し多様な体験ができる教材の工 夫、試行錯誤や考える過程の重視
- ◆特別な支援を要する幼児への関係機関との連携、保護者との合意形成、 個別の支援・指導計画の作成
- ◆体を動かす気持ちよさを体験させる ための発達年齢に合わせた遊具の工 夫と季節に合った環境づくり
- ◆豊かな心が育くむために絵本に興味や関心 が持てるような環境の充実
- ◆桑折ことばの教室の指導体制の充実

知識・技能の基礎

意識の芽生え

9 言葉による

伝え合い

7 自然とのかか

わり・生命尊重

遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか

遊びを通しての 総合的な指導

遊びや生活の中で気付いたこと、できるようになったことなども使いながら、どう考えたり試したり、工夫した

思考力・判断力・表現力等の基

り表現したりするか

学びに向かう力、人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、いかに よりよい生活を営むか

【環境を通して行う教育】

- ◆幼児期にふさわしい生活の展開
- ◆幼児の行動の理解と予想に基づいた意図的・計画的な環境の構成
- ◆一人一人の特性に応じた指導、発達の課題に即した指導

【家庭との連携】

- ◆園便り◆園生活の様子
- ◆家庭訪問・学級懇談 個別懇談・降園時の連絡等◆PT A活動
- ◆ファミリーティーチャー活動
- ◆規則正しい生活環境づくりの推進 (生活リズム『早寝早起き朝ご飯』 の励行)
- ◆幼児教育への理解促進 (家庭教育学級の実施・ホームページの 充実)

【保・小・中との連携】

- ◆異年齢交流(幼保、幼小、幼中)
- ◆ボランティア、実習等の受け入れ

【地域との連携】

◆地域の人や施設とのかかわり ○サロン・緑風園やコクーンとの交流会

○体験活動・ボランティア支援センターの活用

【その他の事項】

- ◆望ましい生活習慣や食習慣を身に付けられるように「家 庭生活習慣のポイント」を活用し家庭との連携に努める。
- ◆指導の振り返りや話し合いによる幼児理解に基づいた よさや可能性に目を向けた評価の工夫・活用
- ◆預かり保育の家庭的雰囲気で安心して過ごせる環境への配慮

桑折町立醸芳小学校

令和2年度 学校経営・運営ビジョン



求 芳 め つ



目指す学校像

学校経営の基本方針

- 一人一人のよさを生かし、生き生きと輝く活気に満ちた学校づくりを推進
- 授業の質的改善を図り、すべての子どもに「わかる、できる授業」を実践 し、確かな学力を育成する。
- 体験的な活動や縦割り班活動等の集団活動を一層充実し、豊かな心と たくましさを育成する。
- 体力づくりと健康づくりを推進し、心身ともに健康な体と最後までやり抜く 力を育成する。
- 家庭や地域との連携を深めて、地域が誇れる教育を推進する。 高い倫理観と自律心を持って職務に当たる。
- 学校事故防止を図るため、最大限の努力をする。

目 標 教育

よく考えて学ぶ子ども 親切で思いやりあのある子ども 健康で明るい子ども 桑折町の

15歳の めざす姿

○ 子 供 た ち の 笑 顔 が 輝 く学 校 ○ 明るく楽しく学びがいがある学校 ○ 一人一人の特性を大切にする学校 安全・安心感のある学校

目指す教職員像

子どものよさを認め、伸ばし、情熱を持って育む教職員 課題に気づき、考え、行動できる教職員

倫理観が高く、専門性、資質の向上を目指す教職員 児童・保護者・同僚から信頼される教職員

重 点 目標

よく考えて学ぶ子どもの育成

0 楽しく、わかる授業づくり

- ・「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり
- •課題提示、発問の工夫
- ・思考を深める分かりやすい板書
- ・「学び合い」による思考力・判断力・表現力の育成
- 多様な学習形態の工夫の推進(交換、合同、T・T授業)
- ・ユニバーサルデザインを生かした授業づくり

○ 基礎・基本の定着と確かな学力の育成

- ・読み・書き・計算の「徹底反復の時間」の徹底
- ・個別の指導方法の工夫と充実
- ・活用力育成シート、定着確認シート、問題集の活用、補 充学習、発展学習の時間の確保
- ・算数オリンピックへの積極的参加
- ・漢字・計算大会の実施(7月、12月)

醸芳中学区連携による主体的な学習態度の育成

- ・学習の約束(醸芳スタンダード)の徹底
- ・家庭学習の手引きの見直しと家庭学習の習慣化
- ・スケジュール表を活用した教育相談の実施
- ・自主学習展(6月、11月)の実施と評価の工夫

○ 情報教育、外国語活動の推進

- ・コンピュータの活用と情報モラル教育の充実
- ・英語で話す能力を高める授業の工夫

○ 読書活動の推進

- ・読書タイムや読書の時間の確保と家読の推進 (読了賞、完読賞の表彰)
- ・図書委員会、学校司書や図書ボランティアによる「読 み聞かせ」
- ・良書の紹介コーナーの充実やビブリオトークの実施

親切で思いやりのある子どもの育成

「本物のあいさつ」「本物の学び」「本物の思いやり」「本物のチャレンジ」福島県内一の学校

○ 人間関係形成能力の向上

- ・よさを認め合う学級集団づくり
- ・「おはよう」「こんにちは」「さようなら」のあいさつ力 の向上

○ 豊かな体験活動を生かした教育活動

- ・ふるさと教育(西山城跡見学)、平和学習の推進
- ・外部人材、外部施設活用による体験の充実
- ・幼、異学年交流による体験の推進
- ・キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実

○ 命や思いやりを大切にする教育活動の推進

- ・満足感、自己有用感の持てる学級経営
- ・「考え・議論する道徳科の授業」の充実(授業参 観時1回公開)
- ・命、思いやり、感謝等の価値を考える授業
- ・「醸芳っ子の約束」を活用した規範意識を高め る生徒指導の充実

○ 係活動、委員会活動や朝のボランティア活動の推進

- 自発的・自治的な児童会活動の推進
- ・ボランティア活動の推進(4,5,6年生)

児童、保護者、教職員の自己評価・学校評価

- 学校評議員による学校評価
- ☆ 評価時期(行事ごと、学期毎)

健康で明るい子どもの育成

運動内容と運動方法を充実

00

- ・ 体力運動プログラムの継続と運動量の確保
- ・めあてを持って楽しく運動できる場の設定と指導 方法の工夫
- ・業間運動「はやぶさタイム」の工夫や全学年「タグラ グビー」の実施、外遊びの奨励
- ・ふくしま体力向上総合プロジェクトへの参加

○ 基本的生活習慣の確立と食育の推進

- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
- ・「健康チェック」・保健相談の積極的な推進
- ・保健・学級活動の授業を通した実践化
- ・家庭・関係機関と連携した歯みがき、食育の取組 (健康教室)

安全に対する意識や行動力の育成

- ・緊急時の対応力を身に付ける安全教育の実施
- (交通教室、避難訓練、防犯教室、放射線教育)
- ・集団登下校の指導の充実

現職研修による授業力の向上

- ☆ 国語・算数単元テストの平均85点以上
- 学力テストNRT偏差値55アンダーアチーバー0 教育公務員として自覚と不祥事根絶の意識高揚
- 不登校0、いじめ未解決0へ向けた取組、対応

具体 的 重 点 項

評

令和2年度

学校経営・運営ビジョン

桑折町立睦合小学校

学校の経営方針

- 安全・安心、信頼される学校づくりの推進
- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着 とともに、その活用を図る学習活動の推進
- 3 学習指導要領を踏まえた指導の充実
- 共生の心を育み「いじめのない学校」をめざす
- 5 健やかな心身を育てる健康教育の推進
- 読書指導の充実
- 7 少人数の良さを生かした指導
- 指導力を培う校内研究・研修充実

教育目標

向上心を持ち 実践力のある児童の育成

~見あげる心 かがやく目~

第6次福島総合教育計画

"ふくしまの和"で奏でるこころ 豊かなたくましい人づくり

2020 桑折町総合計画 教育委員会重点事項 「生きる力」を育む学校教育の充実 「桑折町の15歳のめざす姿」

学ぶことが楽しい学校 (一元気な声がひびく学校)

す児は

うるおいのある学校

元気でねばり強い子供 (基本的生活習慣を身につけて、目標に向かい努力することができる) (望ましい学習習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる)。 進んで学ぶ子供 思いやりのある子供 (自他を大切にする心を持ち、快くすすんで協力できる)



「元気でねばり強い子供」の育成 (健やかな心と体の育成)

1 基本的生活習慣を育成します。

〇心身の健康を保つ生活習慣の育成 (早寝・早起き・朝ごはん)

2 体力の向上を図ります。

- 〇「体力向上1校1実践」の実施
- ○運動身体プログラムの実践による 授業充実

3 健康・安全教育の充実を 図ります。

- 〇専門家による食育授業と健康管理
- 〇健康・安全・放射線教育の充実

「進んで学ぶ子供」の育成 (確かな学力の定着)

1「主体的、対話的で深い学び」を めざす授業を実践します。

- 〇「わかった・できた」を実感できる授業実践
- 〇学び方の定着
- 〇活用力・表現力を高める授業実践

(「授業スタンダード」・活用力育成シート)

2 自ら学ぶ学習習慣を育成します。

- ○家庭と連携した家庭学習の推進 (家庭学習スタンダード)
- 〇自主学習の工夫

(ノートづくりと展示会・自学コンテスト)

3 読書習慣を育成します。

- ○学年必読書の設定と読書奨励
- ○読書活動の充実(図書ボランティア・読み聞かせ)
- ○家読運動取り組みコンクール」の奨励

「思いやりのある子供」の育成 (豊かな人間関係づくり)

<u>1 望ましい人間関係を育成します。</u>

- ○互いの良さを認め合う集団づくり
- 〇相手を思いやる心の育成
- 〇縦割活動, 異学年交流活動の充実

2 自他を大切にする豊かな心を 育成します。

- ○特別の教科「道徳科」の充実
- 〇命を大切にする指導の充実
- 〇自己肯定感・存在感の醸成

3 豊かな社会性を育成します。

- 〇体験活動の充実
- 〇地域との連携
- ○学校ボランティアの活用

特別支援教育の充実

〇個に応じた支援 〇関係機関・専門家との連携 〇通級指導

目指す教師像

- 〇 教育愛に満ちた教師
- 〇 専門性を磨く教師
- 〇 人間性豊かな教師

家庭との連携

- メディア教育の推進(町連携)
- 〇「家読(うちどく)」の推進(町連携)
- 積極的な情報発信(連絡メール)
- 学校へ行こう週間, 学校評価の実施

保護者の願い

- 安全で安心な生活を送らせたい。
- 〇 確かな学力を身につけさせたい。
- 基本的生活習慣を身につけさせたい。 0
- 健康で強い心と体を育てたい。

地域との連携

- 〇 ふるさと学習の充実
- ゲストティチャーの活用
- 〇 幼稚園や町内各学校等との連携

- 〇 地区参加の運動会
- 学校評議員会(年2回開催) 地域行事への参加奨励



学校経営・運営ビジョン 半田醸芳小の教育 2020 令和2年度



桑折町立半田醸芳小学校

児童数99名

桑折町の15歳のめざす姿

教育 目標

考える子(知) 思いやりのある子(徳) たくましい子(体)

【目指す学校像】

明日も来たい、楽しい学校(子供) 明日も子供たちのために勤務したい学校(教師) 通わせて良かったと言える学校(保護者) おらほのすばらしい学校(地域)

目指す子供像

半田プライドを胸に、ふるさとを愛し、高い志と強い意志をもち、 地域とともに学ぶ"半田っ子"

子供につけたい資質・能力の重点 「思考力・判断力・表現力」 「コミュニケーションカ(対話・人間性)

考える子

知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」 人間性」の育成

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ・「読み」「書き」「計算」の徹底反復・活用力シートの活用
- 2 主体的・協働的な学びのある授業実践
 - 授業スタンダードの活用
 - 課題解決型授業の実施
 - ・「話す」「聞く」「書く」活動の充実
 - ・振り返りの時間の確保と充実 ノート作りの指導
- 3 特別支援教育の充実〉
 - ・合理的な配慮のある授業
- ・個別の指導・支援計画の作成
- 組織的な支援体制と関係機関との連携
- 4 外国語科・外国語活動・国際理解教育の充実
- ・外国語推進リーダー,支援員、ALTによる 効果的な指導
- ・外国語科・外国語活動の授業力向上のため の教員研修
- 5 読書活動の推進
- 読み聞かせの実施・読書タイムの設定
- ・家読の日の啓発
- 6 家庭学習の質的改善
- 家庭学習スタンダードの活用
- ・半田醸芳小家庭学習の仕方の活用

〈評価方法〉 口全国学調

- 口ふくしま学調
- □読書冊数
- □単元テスト 口百マス計算
- □漢字合格率
- 口自学ノート冊数
- □ NRT 検査
- □ 授業スタンダシートチェックシート





思いやりのある子

Will country

豊かな人間性の育成

- 1 安心して過ごせる学級づくり(いじめ・不登校含む)
- ・ 積極的な生徒指導の推進
- ・自己肯定感を高める指導
- ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見
- 発達段階に応じた礼儀の指導
- ・正しい言葉遣い(敬語)
 - 二言あいさつ
- 返事・靴そろえ
- 道徳教育の充実を図る
- 考え、議論する道徳の授業実践
- ・道徳科授業の公開
- ・GTによる授業
- ・緑の少年団活動の充実
- 4 人権教育の推進
 - 人権教育を意識した各教科,総合的な 学習の時間,特別活動等の時間での指
- 〈評価方法〉 ロアンケートQU 口心のアンケート
- 口いじめ認知数
- □不登校児童数 □児童出席率
- 口いじめ解消数

【児童の実態】

- まじめで責任感がある
- ・素直で優しい、元気、穏やか
- ・ 根気強い
- ・受身, 指示待ち



【保護者・地域の願い】

- ・思いやりのある子に育ってほしい
- ・家庭学習の習慣をしっかり身に付けてほしい
- ・挨拶や言葉遣いをきちんとしてほしい
- ・安全な生活を送ってほしい
- 確かな学力をつけてほしい
- 進んで読書をする子になってほしい

たくましい子

THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE PARTY

体力向上及び健やかな心身の育成

- 1 教科体育の充実と運動の日常化
- ・陸上運動系単元の指導の充実
- 体育アドバイザーの活用
- ・運動身体づくりプログラムの年間を通しての実施
- ・新体力テストの分析と重点的な取組
- 1学級1実践の取組
- 2 食育の充実
- ・GT, TT による食育授業の推進
- 親子でつくるお弁当の日などを通した保護者への啓発
- ・食育通信の発行
- 3 保健健康指導の充実
 - ・保健便り「ばんそうこう」、歯の保健便り 「歯っぴー通信」の発行
- 各学年での歯の衛生指導(学級活動の時
- ・フッ化物洗口の実施(毎週木曜朝)
- メディアコントロールの推進
- 4 防災教育の推進
 - 放射線教育の計画的・系統的な指導
- ・土砂災害, 浸水災害を想定した避難訓練
- ・児童引き渡し訓練の実施

- 〈評価方法〉 口新体力テスト
- □持久走•水泳 ・縄跳び記録会
- 口肥満度 口う歯率・治療率
- □朝食摂取率
- ロメディアコントロール調査 口生活アンケート

《半田ならではの特色ある教育活動・体験活動》

- 地域を知り、故郷「半田」に誇りをもち、地域の一員として積極的に関わろうとする態度の育成 \circ 個や集団の成長につなげる行事の運営 ○ 半田の歴史・偉人に関する学習の充実
- 人との関わりを大切にした交流活動の充実

(異学年,他校児童,醸芳幼稚園児,高齢者,地域との交流の充実)

《伝承文化継承》

- 口半田銀山祇園ばやし
- ※無形文化財指定
- ※学習発表会,町文化祭での発表
 - ≪環境学習≫ 口緑の少年団の活動
 - □森林環境学習 (低学年•中学年)



- 《ふるさと学》 口ほたる学習
- □だんごさし 口学校田 口半田銀山そば栽培
- 口西山城学習
- 口半田銀山歴史学習

《教職員の専門的な資質・能力の向上と

- 組織的な学校運営体制の構築》 ○ 全職員が目的意識と研修意欲をもった職務の遂行と学 校運営の積極的参画
- 教職員人事評価及び学校評価を中心にすえた教職員の 意識改革と教師力の向上
- 現職教育を中心とした自己研鑽と校内研修の充実によ る授業力の質的向上
- 服務倫理委員会を中心とした,不祥事絶無をめざす教 職員の高い倫理観と法令遵守の意識高揚、および不祥 事防止の徹底○ 教職員同士
- の信頼感やセーフティネッ トの役割の構築
- 働き方改革を意識した業務 改善により,子供と向き 合う時間の確保
- 〈評価方法〉 口保護者アンケート
- □教職員時間外勤務時間
- 口服務倫理チェックシート

《 信頼を基盤として、家庭や地域との連携を 強化し、開かれた学校づくりの推進》

- 学校, 学年, 保健, 給食, 生徒指導等各種おたより の計画的な発行
- 学校ホームページによる保護者や地域へのタイムリ ーな情報発信
- 緊急連絡メール配信システムの有効活用 ○ 学校評価を生かした、学校教育活動の改善
 - 〈評価方法〉
 - □ホームペーシアクセス数 □教育活動保護者アンケート

○ 保護者,地域の期待に応える 開かれた学校づくり



令和2年度 伊達崎小学校経営・運営ビジョン

桑折町 幼小・小小・小中連携

伊達崎小パワーアップ

笑顔あふれる人づくり

「社会に開かれた教育課程」編成

桑折町15歳のめざす姿 ~高い志を持って、自分の将来を切り拓いていこうとする15歳 ~

(知)学ぶ意義を理解し習得した知識や技能を進んで生かそうとしている (徳)郷土愛に充ち,自他を大切にし社会に貢献しようとしている (体)心身ともに健康で,たくましく生きるための体力を備えている

教 育 目 標

心豊かな礼儀正しい子ども

よく考え本気で学習する子ども

「本気で学ぶ」

- ◇ 個に応じた学習指導を推進します。
 - ・インクルーシブ教育の視点を取り入れた授業
 - ・個々の学力の分析と、個別指導・支援の工夫
- **◇ 学びに向かう集中力を高めます。**
 - ・「読み・書き・計算の徹底反復」(週4回)実施
- ・「家庭学習スタンダード」自己マネジメント力の向上の推進、学びの基盤固め
- ◇ 授業改善により、資質・能力を高めます。
 - ・町教委「授業改善・充実」の視点を基にした授業改善
 - ・「主体的・対話的で深い学び」をもとに授業改善
 - ・現職教育を中心とした授業研究実施と見方・考え方を重視した授業に改善

「本気で読み書き」

- ◇ 特別の教科 道徳を要とし道徳性を培います。 ・特別の教科 道徳の趣旨とねらいに沿った授業を 実施します。(指導と評価の工夫・書く時間の確保)
 - ・授業参観等において特別の教科 道徳の授業を公開します。
- ◇ 心に響く体験活動・読書活動を推進します。
 - ・地域の体験活動を通して道徳性の育成を図ります。
 - ・縦割り班活動や各種行事により心を豊かにします。
 - ・読書タイム(週3回), 毎月23日を家読による読書, 読後の考えを書く活動を重点に推進します。

(人の気持ちがわかる児童へ)

◇ 地域の素材を意図的に活用し、授業を公開します。 ・地域の方々との交流や地域素材を生かした体験活動 を充実します。

明るく元気にやりとげる子ども

「本気で走る」

- - ・「新しい生活様式」をふまえた新型コロナウイルス感染 症対策の徹底
 - ・感染源を絶つこと・感染経路を絶つこと・抵抗力を高めること
 - ・関係機関と連携した避難訓練・防犯教室による危険予知と回避能力の育成
 - ・災害対応に関する正しい知識を育てる防災・減災教育 の実施と放射線教育の充実
- ◇ 運動の日常化を推進します。
 - ・運動身体づくりプログラムの自校化
 - ・多様な運動の励行と、「あぶくまマラソン」・「なわとび」の生活化により持久力を向上
- ◇ 地域や機関と連携し健康教育を推進します。
 - ・基本的生活習慣の確立(年2回の生活習慣アンケートの実施と保護者への説明)
 - ・給食センター栄養士・町管理栄養士による「健康に関する指導」の実施

特別支援教育の充実

- ・通級指導による基本的な生活習慣の確立
- ・新設 特別支援学級の専門的手厚い対応
- ・特別支援教育のICT化への組織的対応と研修の充実
- ・通級指導・特別支援学級を特別支援教室と位置づけ

生徒指導の充実

- ・いじめを絶対に許さない。いじめられた子を守り抜く。
- ・不登校0をめざす。きめ細やかな初期対応
- ・非認知能力を育成する指導強化
- 「3つの約束」を徹底できる子どもの育成①あいさつ ②返事 ③くつをそろえる

(あいさつと返事の 伊達崎

多忙化の解消

- ・何事もチーム伊達崎小として対応にあたる体制強化 担任一人で絶対に抱え込まない。協力員 SC SSW等
- ・慣習にとらわれず自分たちの手で学校を変革する
- ・研修の時間の確保(月2回程度 学びの共同体)
- ・定時退勤日の設定・業務改善をめざすためのトラブル未然防止

家庭・地域との学びの共有

児童・学校の見える化=ホームページの充実

- 【家庭】 ○「家庭学習スタンダード」自己管理マネジメント力を高める生活・習慣
 - ○ホームページ・学年だよりによる情報の発信

- OPTAによる取組 毎月23日「家読」の推進
- ○家庭訪問・学級懇談・個別懇談等の充実
- 【地域】 〇地域素材・人材による地域に根ざした教育の推進 ~伊達崎の後継者の育成~
 - ○幼稚園・他小学校・中学校との積極的交流 ○安全・安心できる登下校の見守り

令和2年度 桑折町立醸芳中学校 学校経営・運営ビジョン

<生徒の願い>

- いじめのない学校にしたい。
- 進んであいさつができるようにしたい。
- 明るく活気のある学校にしたい。

<保護者の願い>

- 学力を向上させてほしい。
- 進路指導を充実させてほしい。
- いじめがないように指導してほしい。
- ねばり強い人間に育ててほしい。

<地域の願い>

- ICT機器などを十分に活用し、時代に あった教育を進めてほしい。
- 不登校生徒への支援を十分に行ってほし い。

~高い志を持って、自分の将来を切り拓こうとしている15歳~

知 … 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。

徳 … 郷土愛に充ち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。

体 … 心身共に健康で、たくましく生きるための体力を備えている

【教育目標】

自立 ~ 自ら学び、考え判断、行動し、自分を高める生徒 (知)

利他 ~ 思いやりをもち、協力して、他者や社会のためにつくす生徒 (徳)

健康 ~ 命を大切にし、心身ともに健康で体力を高める生徒

努力 ~ 何事にも真剣に取り組む生徒

(体)(態度)

【目指す学校像】

- 生徒が夢や希望、志をもち、その達成に向けて努力している学校
- 生徒一人一人の学力を伸ばす学校 ~アンダーアチーバー10%未満~

<生徒の実態>

- よさ 素直で何事にも一生懸命取り組む。
 - 友達思いで優しい。
 - 真面目でルールを守ろうとする。
- 課題 自分の考えをもち表現すること。
 - 高い目標に向かって努力すること。
 - 〇 自主性
 - 集団として高め合うこと。
- <醸芳中学校の課題に向き合う教師像>
- 絶えず研究と修養に努める教師
- 授業改善に努める教師
- 部活動に熱心な教師
- 師弟同行
 - より良きモデルとなるよう努める教師

今年度の重点事項

自立(知)~ 学ぶことをとおして自分の人生を切り拓く

○ 生徒が互いに高め合う授業をします

- ・ 問題解決型の授業の構想,実践 「見通しをもつ」「自分の考えをもつ」 「グループ・学級で話し合う」「内容や方法を振り返る」
- ・『なびタイム』(まとめ・振り返りの時間)の充実

〇 学力を定着・向上させます

- 学習の5つの約束の徹底
- ・ わかるまで教え、できるまで支える学習指導
- ※ 繰り返しの学習の充実と基礎力テストの実施
- ・ 個に応じた家庭学習の習慣化の指導(5つのステップ)

〇 読書活動を充実させます

- ・ 朝の読書の充実
- 読書習慣強化週間の取組

○ 志の教育を系統的計画的に進めます

- ・ 「職業人に学ぶ」「職場体験」「高校調べ」や入学式, 立志式,卒業式等の学校行事の充実
- ・ 総合学習や学級活動を中心とした生き方を考える教育 の充実

利他(徳)~自分を見つめ他を思いやり行動する

O 規範意識を高め、自主性を育みます

- ・ TPOに応じた行動の指導の充実
- ・ 朝自習,落ち着いた給食,無言清掃,あいさつの奨励
- ・ より良い醸芳中学校を目指す生徒会活動の活性化

○ いじめ、不登校に丁寧に対応します。

- ・ 道徳教育を中心とした思いやりの指導の充実
- · QUテストの意図的効果的な活用
- ・ いじめの早期発見,早期対応
- ・ 組織をあげた不登校への対応
- ・ 家庭と協働した生徒の自己肯定感を高める働きかけ

○ 心の悩みの解決に努めます

- ・ アンケート調査や教育相談による悩みや問題の早期 発見・早期対応
- スクールカウンセラーによる面談の実施

〇 地域との交流を深めます

- ・ サマーショートボランティア,地域清掃活動への積 極的な取組
- ・ 郷土の歴史を学ぶ学習の充実

健康(体)~命を大切にし健康を増進し体力を高める

○ 健やかな体づくりと体力向上を図ります

- ・ 目標を明確にした保健体育の授業など体力向上の 取組
- ・ 部活動の充実
- 校内駅伝競走大会の実施
- 確実な保健検査の実施
- ・ むし歯の治療、肥満の解消への取組

〇 健全な生活習慣を形成します

- 学校給食を活用した食育の推進
- ・ 「保健だより」「生活習慣改善に向けた授業」など による健全な生活習慣の重要性の啓発
- ・ 「生活ノート」を利用した生活習慣の個別指導の 充実

〇 命を守る安全教育を推進します

- ・ 飛び出しの防止と安全な自転車の乗り方に重点を 置いた交通安全教室の実施
- 防災教育,放射線教育の充実

〇 保護者との連携を強化し、協力して生徒の成長を支えます。

- 保護者参観(授業参観, 醸中祭, 三者面談等)の充実
- ・ PTA委員会活動の充実・ 学校だより、学年だより、保健だよりの定期発行・ 学校ホームページの更新